

# 大阪消防

OSAKA

11 平成28年  
月号

SHOBO

創刊800号記念





団体割引適用で割安！ いざという時のために！

～消防人生をずっと補償～

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

# 消防職員・消防退職者 のための 保険

**1 団体割引適用 30% 消防職員医療保険**  
医療保険基本特約付・疾病保険特約  
・傷害保険特約セット 団体総合保険  
募集時期■7~8月 2~3月 2~4月(新採用プラン)

**2 団体割引適用 30% 消防職員傷害保険**  
総合補償特約セット  
普通傷害保険・家庭傷害保険

**3 年間保険料 3,200円 消防職員賠償責任保険**  
救命救急士の専門業務も補償!  
公務員賠償責任保険(消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項)  
募集時期■12~2月 7~8月

**4 团体割引 20% 消防職員がん保険**  
団体総合生活保険(がん補償)  
募集時期■12~3月

**5 团体割引 損害率による割引適用 約40% 消防退職者医療保険**  
団体総合生活保険(医療補償)  
募集時期■12~3月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに  
**全国消防保険サービス株式会社**

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

引受保険会社 ・損害保険ジャパン日本興亜株式会社・東京海上日動火災保険株式会社  
〔損害保険ジャパン日本興亜株式会社〕は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

SJNK15-15088 (2015.01.21)  
15-T11232 (2016年2月作成)

藤井  
茂樹

大阪市消防局長

## 未来へ繋ぐ

「大阪消防」誌は、昭和25年3月の創刊から66年の歳月を重ね、今月号で800号となりました。

これもひとえに毎号寄稿に携わってこられた諸先輩方や多くの職員、関係機関の皆様そして昨今では府内の各消防本部の皆様のおかげであり、ここに厚くお礼申し上げます。

さて、改めて創刊号を読み返しますと表紙絵は、近代都市大阪を予言するようなビル群が描かれており、初代松島局長が創刊の言葉として「明・強・敏」の局是を謳い、自治体消防発足もない大阪消防の姿を映した機関誌として産声をあげた喜びの瞬間をよみとることができます。

そうした中、高度経済成長期の昭和47年「千日デパート火災」が発生し、本誌は、当時の消防隊の動きがつぶさに見て取れる活動状況を掲載するととも

に消防戦術の説明など、時代とともに変化進化している消防活動の記録が保存されています。

また、平成20年の「個室ビデオ店火災」では、予防技術資格者のエキスパート集団「特別査察隊」を発足させ、消防設備の未設置など悪質な法令違反には徹底的に違反是正を行うなど、全国に先駆けた取り組みを紹介し、今も貴重な資料として活かされています。

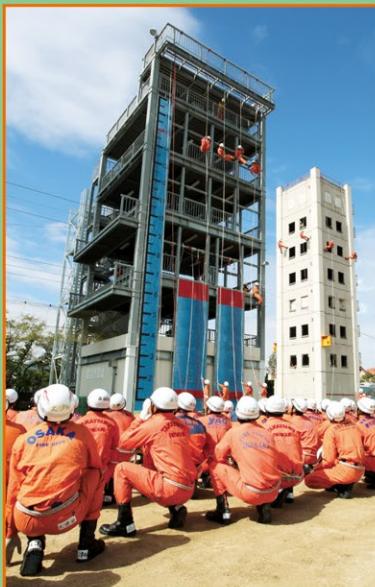
一方で職員の趣味などに関する記事は、諸先輩の若き日の姿を懐かしく拝見することができ、自分の姿と重ね、本誌における歴史の長さと大きさに感嘆し、これからも、毎号時を刻み未来の900号へ繋げていきたいと切に感じています。

最後になりますが、愛読されている皆さま、これからも「大阪消防」誌をよろしくお願い申し上げます。

敏 強 明

# 第100回初任教育実科査閲・終業式

9月27日  
大阪府立消防学校



# めざせ子ども救命士チャレンジラリー2016

9月10日  
大阪市立阿倍野防災センター



## 第150期 新任教育生辞令交付式

10月3日  
消防局

消防局長から新任教育生（39名）に辞令が交付された。



## 第101回 初任教育入校式

10月6日  
大阪府立消防学校

初任教育のため149名（当市から39名）が、入校し教育学生の代表が宣誓を行った。



表紙：大阪市消防局周り／編集部

01	ことのは 未来に繋ぐ	藤井茂樹
02	グラビア 第100回初任教育実科查問・終業式	編集部
03	グラビア めざせ子ども救命士チャレンジラリー 2016 第150期新任教育生辞令交付式 第101回初任教育入校式	編集部
04	コンテンツ	編集部
05	いらっしゃい、大阪消防です！ 池内 竜美さんを訪ねて	編集部
08	<b>特集 「大阪消防」誌800号記念</b>	編集部
08	各記念号に寄せられた言葉を見る大阪消防のあゆみ	
12	大阪府立消防学校第100回初任教育～未来の担い手～	
16	各都市・編集部からのメッセージ（東京消防庁・千葉市・川崎市・名古屋市・京都市・神戸市各消防局）	
18	「昭和」24面相 1933（昭和8）年リンゴ事件	信濃文
20	<b>ニュースカプセル 運を支配した天才SH</b>	藤井英一 イラスト・山田いつか
21	救急安心センターおおさかだより	救急課
21	災害概況	警防課
22	みんなで備えるコミュニティ防災（14）災害に関わる人々の心理	佐伯大輔
23	レスキューナースからのメッセージ（8）あなたは非日常を生きることができますか？	辻直美
24	コマンドアイ 敵を知り、己を知れば百戦危うからず	西方面隊
26	調査鑑識 平成28年度 電気鑑識研修	調査鑑識
28	キセイカナビ 製造所等の「許可の取消し」及び「使用の停止」について～昇任試験対策編～	規制課
29	環状線	各所属
36	<b>大阪の消防NEWS</b>	泉州南消防組合泉州南広域・箕面市・八尾市各消防本部・豊中消防局
38	職務① 運転適性検査～公用車事故ゼロを目指して～	人事課
40	職務② 平成28年度水難救助技術訓練	警防課
42	職務③ 救急医療功労者表彰式典	大阪府下消防長会
44	大阪市防火管理協会からのお知らせ	編集部
45	自衛消防隊紹介	福島区
45	女性防火クラブだより	浪速区
46	健康ダイヤリー 糖尿病、見逃していませんか？！	人事課
47	親睦会だより 平成28年度親睦会水泳大会	大阪市消防職員親睦会
48	大阪めぐり（表紙絵）・編集室	編集部

いらっしゃい、大阪消防です！

## 『 池内 章美さんを訪ねて 』

子どもの頃は、絵を描くことは好きでしたが、高校時代は陸上競技の長距離（1500m障害と5000m）に取り組んでいました。

入学試験はそうは簡単なものではなく見事に落ちました。ここ一番仕事も辞めて本気で美大の合格を目指すことにしましたが、高校時代は陸上競技に熱中しており、あまり勉強はしていました。そこで5科目の学科勉強からはじめなければなりませんでした。一番の難題は受験のための実技で、これは先生について一から勉強を始めました。が、そんなに甘いものではなく二回目もダメでした。当時競争率15倍くらいだったと思いますが、頑張って三度目で合格する事が出来ました。この頃が私の人生で一番勉強した時代かもしれません。

高校を卒業して兵庫県庁に勤めていた時に昔を思い出して趣味で日本画を描き始めたのですが、そのうち若氣の至りで本格的に絵を学ぼうなどとだいそれたことを思い立って美術系大学を目指すという暴挙にでました。私立の大学は経済的にとても無理なので近くの京都美術大学日本画科を目指しましたが、年齢も年齢でいつまでも親

### 画家を目指された切っ掛けは



● 日本画家  
いけうち あきよし  
池内 章美

### プロフィール

- 1947年(昭和22年)  
・兵庫県神戸市に生まれる  
1975年(昭和50年)  
・京都市立芸術大学日本画専攻科修了  
・堂本印象先生に師事し東丘社入塾  
(同年先生逝去)  
・三輪晃勢先生に師事  
(先生を中心新生東丘社発足)  
・第10回日春展初入選(以後連続入選)  
1977年(昭和52年)  
・第9回日展初入選(以後連続入選)  
1994年(平成6年)  
・第26回日展で「道」が特選受賞  
1998年(平成10年)  
・第30回日展で「しじま」が特選を受賞  
2010年(平成22年)  
・中国四川省成都にて個展  
・第42回日展審査員

### 現在

日展会員、日春展会員、東丘社所属

### 麻雀と模写室の生活

入学後日本画科の中に古画の模写を勉強する教室があり、もともと従来の日本画に傾倒しておりましたのでその教室に所属しました。おおらかな学校で学

生活を送っていましたが、そのうち麻雀屋に居る時間が殆どになりました。担当教授が寛大な方だったので本来の要領の良さで何とか卒業のための生活になりました。担当教授

にしました。就職することになっていた母校では、それなりに決まっていた。就職することになっていた。就職を断つてから務めることにしました。卒業後の道は決まりましたので、たまたま話があつた出でアルバイトに励み資金を貯め、卒業のまえに3か月間ほどヨーロッパを旅行し各地の美術館を見て回って名画を鑑賞したり、当時新進気鋭の画家として売り出し中の先輩達に刺激を受け、ここでまた生來の思い付きでアーティストとして活動を始めた事もあり、決まっていました。就職を断り大学に残ることになりました。就職することになっていた。就職を断つてから務めることにしました。卒業後は講師で来てほしいと破格の待遇で、人生の選択を2年間先延ばしが出来ました。

### プロを目指して

決まっていた就職を断つてまで入ったのに、元の木阿弥で、また2年間も同じような生活を送つてしましましたが、徐々に画家を目指す事に気持ちが傾いてきて大学院修了と同時にこの道を歩こうと決めました。その時に、日本画家として活躍して

のすねをかじつてこのような生活を送っているわけにはゆきません。教員資格を取つていましたので、たまたま話があつた出で高校の美術の教師として翌春から務めることにしました。卒業後の道は決まりましたので、たまたま話があつた出で高校の美術の教師として翌春から務めることにしました。

いた先輩からお誘いを頂いて堂本印象先生が主宰される東丘社という画塾に入れて頂くことになりました。その画塾は日展を目指す画家の集まりで、その時は28歳になつていましたがおまきながら日展に出品しました。



アトリエにて

東丘社で堂本印象先生の教えを受けることになりましたが、当時印象先生はご病気のため高弟の三輪晁勢先生のご指導を賜ることになり、入塾半年たらずで印象先生がお亡くなりになりました。晁勢先生を中心新たに日本画研究団体として新生東丘社が発足しました。私もその会員に加えていただき引き続き晁

ります。当時私は自身で晁勢先生の孫くらいの年でしたからかわいがつていただき、先生が絵を描いておられる横で絵具を溶くなど、色々とお手伝いをさせていただきました。このことは私にとって大きな財産になりました。

先生には晩年の七年間ほどお教えをいただいたのですが、大変気配りが行き届いたお方で、時折お食事を御一緒させていた

だくこともあり、若い食欲旺盛な私が遠慮しているのではと気遣われ、自分のお食べにならないものまで色々注文なさって、「ちょっと沢山注文してしまいました。まだ手を付けてないけど君食べてください」といつも相手のことを思いやるお心の持ち主でいらっしゃいました。先生のお供でお邪魔した先方です」と紹介してくださいなるなど、倍以上の年齢差で、まだ絵描き

勢先生のご指導を受けることになりました。印象先生の時代と違つて師弟関係の画塾ということがなくなつたのですが、私にとって晁勢先生が師匠であり、先生のお許しを得たものではありませんが、画歴には師匠

として記載させていただいておりました。当時私は自身で晁勢先生の孫くらいの年でしたからかわいがつていただき、先生が絵を描いておられる横で絵具を溶くなど、色々とお手伝いをさせていただきました。このことは私にとって大きな財産になりました。

ともいえない私にいつもこのよう接していました。

先生がお亡くなりになられて30年になりますが、毎年、先生のご仏前にお参りを済ませてから、日展の出品作品の制作に取り掛かります。

### 人に恵まれて

日本画は絵具等に費用が掛りますが、画家として出発当時に収入もそれほどありませんでしたので学生時代からの馴染みの絵具屋さんに助けられました。店の絵具棚の前で試案していると、「欲しいものが有ればお金はいつでもいいから全部持つて帰り」と言ってくださいました。ついぶん借金がありましたがたまに美術展で賞をいたいた時など、水引きの掛けたままの賞金を絵具代として持つて行くようなこともありました。遠慮なしにふんだんに絵具が使えたことは何物にもまして有り難いことでした。

晁勢先生の御子息の晃久先生にも可愛がつて頂き、写生旅行のお伴をさせていただいたり、自身時代はよくお宅で食事を御馳走になりました。

三十代後半には先輩の画家に

紹介してもらった百貨店での個展が成功し、画家としての道が見えてきたことも私の人生にとって忘れることのできない人間関係です。

### 大阪府隊の心を筆に

「東日本大震災の発災後、大阪府内の消防局・本部から災害支援隊『大阪府隊』として釜石市、大槌町へ向きました。大槌町での一斉捜索に向う緊急消防援助隊大阪府隊の車列が大槌町に入る手前で小休止をした時の情景写真を基に、絵にして頂けませんか」という無理なお願いも快く受け取りました。その絵を



揮毫いただいた「絆」

釜石市消防本部の庁舎の落成に間に合わせて頂きまして、有難うございました。大阪府内の消防署員の気持ちを描いて下さいました。『絆』は、今も、釜石大槌地区行政事務組合消防本部の玄関ホールに飾られています」

依頼を頂いた時は戸惑いました。大震災の悲惨な現場をまったく目にしないで写真だけで絵を描くことのうしろめたさと、消防車を絵のモチーフとして描こうと思つたことがなかつたので正直戸惑いました。写真を見てもなかなかイメージが湧いてこなくて困りましたが、いい経験をさせていただきました。

### 取材の為にヨーロッパへ

絵描きになつた時もそうでしたが、元来が行き当たりばつたりなところがあつて、絵が売れ纏まつたお金が出来ると思い立つて外国へ取材旅行に出掛けました。若い頃は期間乗り放題の切符を買い、ホテル代を浮かすために、夜になるとフランスから夜行列車でスペインに行き、次の日の夜になると夜行列車でフランスに戻るというような事もやりました。ここ20年ほどは現地でレンタカーを借り

### 今後の目標は

暑い中を歩き回り、大体のイメージの場所が見つかりましたので八月から二ヶ月を費やし今まで八月の日展に出品しました。この絵は大阪では天王寺の美術館に来春陳列されます。

来年には70歳になりますが、綱渡り的ですが面白い人生でした。

私も来年は70歳となりますので体力的なこともありますが、ヨーロッパと中国の風景の取材をもう数年続けたいと思っています。これらをもとに来年か再来年には東京のデパートで個展をさせていただくことになっております。

師匠の三輪晃勢先生は晩年「何歳になつても絵が上手にならんなど」とよくおつ

りつくりと、気に入った景色を見つけては写生をしながらの旅行が好きで、十数回出掛けています。

今年の六月には中国の蘇州から江南の地へ、2週間リュックを背負つて旅行をしました。そこの西塘という古鎮は昔からあこがれていた所だったので、トム・クルーズ主演の「ミッション・イン・ポッシブル」の撮影に使われた水辺の景色が人気のスポットになつてしまつており人が溢れています。今年の日展の取材が目的だったのですがイメージがだつたのですが、丁寧に写生をし、丁寧に画材を扱い、丁寧に他人の絵を見、すべてゆっくり丁寧に

日本画教室で一緒に勉強している生徒さんたちには、常々こういふように話しています。日本画教室の生徒さんの中に高齢の方がおられ、85歳で関西展に100号の作品を出品された方や95歳で50号の絵を描いておられる方。今年、93歳で亡くなられた方も亡くなる直前まで絵を描いておられたようです。

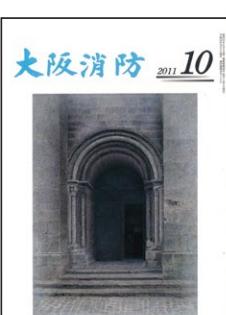
普段いい加減な妄言をまき散らしている私ですが、絵に対してもだけは自分に正直で嘘のないものにしたいと思います。あと私は先生のような才能をもち合わせておりませんので、日々の制作過程において絶えず意識し、自分に言い聞かせていることがあります。

丁寧に対象物を観察し、丁寧に写生をし、丁寧に画材を扱い、丁寧に他人の絵を見、すべてゆっくり丁寧に

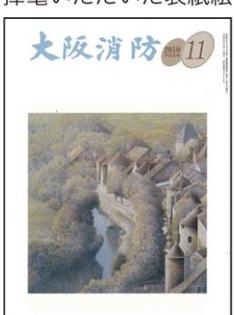
しゃつていきましたが、私も間もなくそのころの先生の年齢に近づきますが、多分先生の足元にも及ばないことでしょう。

何点描けるかわかりませんが、自分の絵の前に立つて、「ええ繪や」と言えるような絵が一枚でも出来たらいいなと思います。

### 揮毫いただいた表紙絵



カテドラル



川沿いの街



菖蒲

# 各記念号に寄せられた言葉に見る 大阪消防のあゆみ

## 創刊100号

昭和33年6月



### 100号「扉の言葉」

わが大阪市消防局の教養誌「大阪消防」は、創刊以来、本月号をもってここに第百号に到達した。即ち八年四ヶ月を経過したわけである。

早かったといえば、まことに早かったが、それでも創刊の言葉に松島消防局長は、全国消防に伍し、日本一を目指して、ぜひともまず第一にそのテープを切つてのけたいものと望み走り続ける消防人の我々に、本誌が活力素ともなれば幸甚だと述べられているがはたして百号を送り出した今日、その自問自答如何にやと言いたいところである。

消防の全目的は、対象が市民の所有にかかる財産から、その人たちの生命・身体に至る保護とされる以上、市民自らの自衛意識に基盤を置いた消防人我々の力がどう他力的に物言ふかにある。なんとしても、火事を出し人、危機に瀕する財産・生命・身体は市民である。市民のための消防を市民の理解による平素の協力の下、最も効能的に活かさんとする立場がわれわれ消防人である。さすれば、消防人だけの消防では決してないことは本欄でしばしば言及し知悉されている。

この意味において、本誌編集の目標はわれわれ職員相互の教養、知識向上の、いわば誌上大学であり、市民の深い理解からなる協力を求むるに足る資質の蓄積と彼我とともに消防目的の完遂へと相知らんとする架橋でもある。<中略>

「大阪消防」の姿は、ただに大阪消防局のそれであるばかりでなく、近代日本消防をシムボライズし、洋の東西にわたる記事をも合わせ、松島局長のいう日本一への消防の名実を、否世界水準を行く消防への脈々たる血管の流れにも似て確かにわれわれ消防職員にとり、こよなきオアシスでもあり、活力素たるは否めない事実である。

これらに至しめられた大方諸賢に心からなる感謝と敬意を表し、さらに旧に倍した御指導御鞭撻を懇希して、「大阪消防」百号到達御礼の御挨拶をしたい。<以下略>



## 創刊号

昭和25年3月



### 創刊号「扉の言葉」 松島初代大阪市消防局長

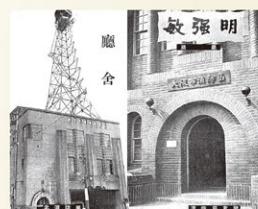
自治体消防新發足以來、早くも満二年は経過した。今迄に無かった消防大改革が斷行され、官設から巣立ち、警察から獨立し、全國一齊に脚光を浴びてスタートラインに立たせられた消防は、眞に市民奉仕者足らんとするゴールに向かって馳り続けた。大阪市に於いては警察が大阪城内に據を構えたに對し、消防は市民の街、守らんとする家のど真ん中に在る有意義なりとして、四ツ橋西長堀河畔を選んで今の局廳舎を特設して貰った。相次いでの市會の溢るゝ聲援はもとよりとして、地元西區民の方々の歓迎會まで開いてくださったには感激の外は無かった。それからと云うものは、開廳のその日と毎年の出初式とで、三回もの視閲、放水行事が廳舎前で行われたので、すっかり消防局は四ツ橋の名所にされて行った。

又各人の在り方については、市民に親しまれて「もの・分かった消防」を目標とし、期せずして「明・強・敏」の三字を申し合せ、之を局是と定め今日に至っている。わが國歴史始まっての経験とともに見るべき敗戦下の現状にあっては、ともすれば沈淪し自滅への暗に陥りやすく、それでなくとも角を立てたがる。苟くも市民の奉仕者として自他ともに任じようとする以上、明るく、強く、而も敏く身を處して、お役に立てようと云うのがそれである。今では同僚諸君は新舊如何を問はず、此の局は肚の底から体得せざれば局員にあらずと迄の徹底振りは洵にたのもしい。

斯くて大阪市消防局は全國消防に伍し、日本一を目指して名實を備へんことを期している。市民各位の深い理解と温い協力に應えて、是非とも先づ第一にそのテープを切つてのけたいものである。

この三月より「大阪消防」が創刊される。馳り続ける消防人の我々に本誌が活力素ともなれば幸甚である。寄稿、揮毫の各位に心から感謝の意を表して創刊の言葉とする。

「人等其勤」	「大震災復興」	「消防大改革」	「消防大改進」
「大震災復興」	「消防大改進」	「消防大改革」	「人等其勤」
「消防大改進」	「大震災復興」	「人等其勤」	「消防大改革」
「消防大改革」	「消防大改進」	「大震災復興」	「人等其勤」
「人等其勤」	「消防大改進」	「消防大改革」	「大震災復興」



# 創刊300号

昭和50年2月

## 300号祝辞

300号おめでとう 作家 藤沢桓夫

「大阪消防」が三〇〇号を重ねたと聞き、早いものだと驚くとともに、その見事な成長ぶりに心からのおめでとうを申したいのです。

現在発行されている各種の職域雑誌の総数はずいぶん多いことでしょう。が、その中で「大阪消防は」外観内容ともにおそらくトップ・クラスにランクされるのではないかと思います。まず毎号の表紙絵の色彩的な美しさが私たちの眼を愉しませてくれます。学芸各界の知名人による随想類にも面白いものが多い。一と口に行って、雑誌全体の構成にやぼったさがなく、いかにも都会的でスマートです。これは、編集スタッフの技術的な優秀さ、社会的視野の広さを示すものありましょうが、いずれにしても「大阪消防」は、見る雑誌・読む雑誌として、職員ならびにその家族の方々の慰安の役割を、教養・娯楽の両面で立派に果たしていることと拍手したいのです。

一層の発展を期待します。



# 創刊200号

昭和41年10月

## 200号「扇の言葉」

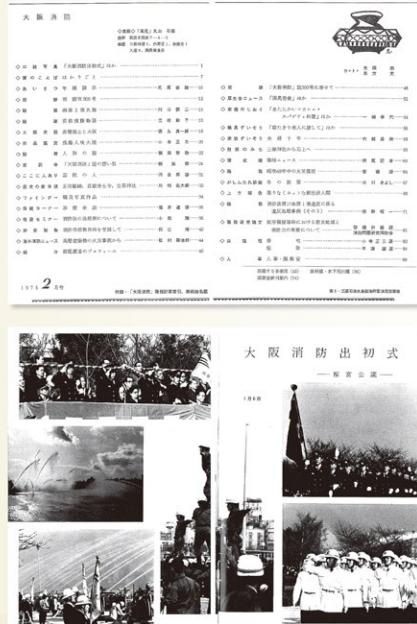
平時消防から戦時消防へと移行し、戦争末期の大阪の空襲はいよいよ熾烈さを加え幾多の先輩同僚が、雨のごとく落下する焼夷弾をぐぐり、炎天下に漲る中を駆け巡り、家を忘れ、家族を忘れてひたすら戦火と戦った時代から、やがて平和の曙光を迎え、自治体消防の新生時代の訪れとなつたが、その歩んだ道は厳しく、また苦難のかずかずがあつたことであろう。

爾来市民に親しまれ、愛される消防を目標に十八年余、人員、機械、施設の充実強化と、警備、予防一体の消防行政とによって、確立された近代的消防の姿には、時代とともに歩んだ進歩の多くが感じられる。

しかし、時は変われども大阪消防の伝統は、今なお昔のままで受け継がれている。平時は平時の、戦時には戦時の消防人としての信念が培われ、現代は現代の知性が養われている。消防人としての教養を高め、品性の当時を図ることは、昔も今も変わりない。むしろ以前にも増してお互い研鑽しなければならない現今である。複雑多岐にわたる消防行政、科学的な事象の究明などに対する的確な処理判断は、消防人自らの知性と教養から生まれる。

輝かしい大阪消防の伝統を重んじ、今日の消防を担い、今日の消防に生きる我々、自ら歩み来た道を今一度回顧して、反省と決意を新たにしたい。

大阪消防とともに歩み育てられていく本誌ここに二〇〇号、さらに前進を続け、この伝統と歴史を永遠に継承していくことであろう。



# 創刊200号



昭和41年10月

## 200号「扇の言葉」

平時消防から戦時消防へと移行し、戦争末期の大阪の空襲はいよいよ熾烈さを加え幾多の先輩同僚が、雨のごとく落下する焼夷弾をぐぐり、炎天下に漲る中を駆け巡り、家を忘れ、家族を忘れてひたすら戦火と戦った時代から、やがて平和の曙光を迎え、自治体消防の新生時代の訪れとなつたが、その歩んだ道は厳しく、また苦難のかずかずがあつたことであろう。

爾来市民に親しまれ、愛される消防を目標に十八年余、人員、機械、施設の充実強化と、警備、予防一体の消防行政とによって、確立された近代的消防の姿には、時代とともに歩んだ進歩の多くが感じられる。

しかし、時は変われども大阪消防の伝統は、今なお昔のままで受け継がれている。平時は平時の、戦時には戦時の消防人としての信念が培われ、現代は現代の知性が養われている。消防人としての教養を高め、品性の当時を図ることは、昔も今も変わりない。むしろ以前にも増してお互い研鑽しなければならない現今である。複雑多岐にわたる消防行政、科学的な事象の究明などに対する的確な処理判断は、消防人自らの知性と教養から生まれる。

輝かしい大阪消防の伝統を重んじ、今日の消防を担い、今日の消防に生きる我々、自ら歩み来た道を今一度回顧して、反省と決意を新たにしたい。

大阪消防とともに歩み育てられていく本誌ここに二〇〇号、さらに前進を続け、この伝統と歴史を永遠に継承していくことであろう。



年	題	内 容	頁
1950.2	創刊号	表紙	21
1950.10	第1号	「大阪消防」誕生記念	22
1951.2	2号	「大阪消防」誕生記念	22
1951.10	3号	「大阪消防」誕生記念	22
1952.2	4号	「大阪消防」誕生記念	22
1952.10	5号	「大阪消防」誕生記念	22
1953.2	6号	「大阪消防」誕生記念	22
1953.10	7号	「大阪消防」誕生記念	22
1954.2	8号	「大阪消防」誕生記念	22
1954.10	9号	「大阪消防」誕生記念	22
1955.2	10号	「大阪消防」誕生記念	22
1955.10	11号	「大阪消防」誕生記念	22
1956.2	12号	「大阪消防」誕生記念	22
1956.10	13号	「大阪消防」誕生記念	22
1957.2	14号	「大阪消防」誕生記念	22
1957.10	15号	「大阪消防」誕生記念	22
1958.2	16号	「大阪消防」誕生記念	22
1958.10	17号	「大阪消防」誕生記念	22
1959.2	18号	「大阪消防」誕生記念	22
1959.10	19号	「大阪消防」誕生記念	22
1960.2	20号	「大阪消防」誕生記念	22
1960.10	21号	「大阪消防」誕生記念	22
1961.2	22号	「大阪消防」誕生記念	22
1961.10	23号	「大阪消防」誕生記念	22
1962.2	24号	「大阪消防」誕生記念	22
1962.10	25号	「大阪消防」誕生記念	22
1963.2	26号	「大阪消防」誕生記念	22
1963.10	27号	「大阪消防」誕生記念	22
1964.2	28号	「大阪消防」誕生記念	22
1964.10	29号	「大阪消防」誕生記念	22
1965.2	30号	「大阪消防」誕生記念	22
1965.10	31号	「大阪消防」誕生記念	22
1966.2	32号	「大阪消防」誕生記念	22
1966.10	33号	「大阪消防」誕生記念	22
1967.2	34号	「大阪消防」誕生記念	22
1967.10	35号	「大阪消防」誕生記念	22
1968.2	36号	「大阪消防」誕生記念	22
1968.10	37号	「大阪消防」誕生記念	22
1969.2	38号	「大阪消防」誕生記念	22
1969.10	39号	「大阪消防」誕生記念	22
1970.2	40号	「大阪消防」誕生記念	22
1970.10	41号	「大阪消防」誕生記念	22
1971.2	42号	「大阪消防」誕生記念	22
1971.10	43号	「大阪消防」誕生記念	22
1972.2	44号	「大阪消防」誕生記念	22
1972.10	45号	「大阪消防」誕生記念	22
1973.2	46号	「大阪消防」誕生記念	22
1973.10	47号	「大阪消防」誕生記念	22
1974.2	48号	「大阪消防」誕生記念	22
1974.10	49号	「大阪消防」誕生記念	22
1975.2	50号	「大阪消防」誕生記念	22
1975.10	51号	「大阪消防」誕生記念	22
1976.2	52号	「大阪消防」誕生記念	22
1976.10	53号	「大阪消防」誕生記念	22
1977.2	54号	「大阪消防」誕生記念	22
1977.10	55号	「大阪消防」誕生記念	22
1978.2	56号	「大阪消防」誕生記念	22
1978.10	57号	「大阪消防」誕生記念	22
1979.2	58号	「大阪消防」誕生記念	22
1979.10	59号	「大阪消防」誕生記念	22
1980.2	60号	「大阪消防」誕生記念	22
1980.10	61号	「大阪消防」誕生記念	22



# 創刊500号

平成3年10月



## 500号へのメッセージの中から 疑問をもつことから進歩が始まる 医師 桂田 菊嗣

「大阪消防」発刊後、一口に四十年五〇〇回といっても、これは大変な年月にわたる歴史が形成されたわけで、その間の関係各位の御努力に敬服する。

私が救急医療を通じて消防関係の方々とお付き合いをさせていただくようになったのは昭和四十三年頃からで、それからでも早や二十数年を数える。医師社会でこれだけ長く消防とかかわっている人は全国でも少なく、私としてはいたへん光栄に思っている。

ところで消防業務あるいは組織のなかで、残念ながら救急関係部門は長らく不肖の子供であった。最近になって漸く実子として認知されようとしており、その間ずっとこの日が来るのを待ち望んできた私にとっては、もちろん嬉しいことではあるが、くたびれ果てたというのが本音である。

そんなことで、我が国の消防関係誌に救急の記事が掲載されるのはまれであったが、本誌には「救急 Q&A」のコラムがそれでも比較的早く(?)から登場した。私がこのコラムを始めて執筆させていただいたのは、昭和六十年五月だったと思う。いつも編集者に催促されて締切前夜に一時間くらいで書いているので、読者には随分失礼なことお詫びせねばならない。それでも他府県にも読者がおられるらしく、ありがたいことである。

よく思うのは、いい質問(Q)が少ないとある。何でも疑問をもつことから進歩が始まることを救急隊員の皆さんにはよくよく自覚していただきたいと願っている。

**大阪消防**

500号 記念特集

500年に寄せて 一周年特集	55
消防署の窓口について	56
消防署の窓口について	57
消防署の窓口について	58
消防署の窓口について	59
消防署の窓口について	60
消防署の窓口について	61
消防署の窓口について	62
消防署の窓口について	63
消防署の窓口について	64
消防署の窓口について	65
消防署の窓口について	66
消防署の窓口について	67
消防署の窓口について	68
消防署の窓口について	69
消防署の窓口について	70
消防署の窓口について	71
消防署の窓口について	72
消防署の窓口について	73
消防署の窓口について	74
消防署の窓口について	75
消防署の窓口について	76
消防署の窓口について	77
消防署の窓口について	78
消防署の窓口について	79
消防署の窓口について	80
消防署の窓口について	81
消防署の窓口について	82
消防署の窓口について	83
消防署の窓口について	84
消防署の窓口について	85
消防署の窓口について	86
消防署の窓口について	87
消防署の窓口について	88
消防署の窓口について	89
消防署の窓口について	90
消防署の窓口について	91
消防署の窓口について	92
消防署の窓口について	93
消防署の窓口について	94
消防署の窓口について	95
消防署の窓口について	96
消防署の窓口について	97
消防署の窓口について	98
消防署の窓口について	99
消防署の窓口について	100
消防署の窓口について	101
消防署の窓口について	102
消防署の窓口について	103
消防署の窓口について	104
消防署の窓口について	105
消防署の窓口について	106
消防署の窓口について	107
消防署の窓口について	108
消防署の窓口について	109
消防署の窓口について	110

**堂島ホテル火災実験**

教習教官による講義

教習教官による講義

**心・技・体を競う**

第20回全日本消防技術競技大会

消防訓練

消防訓練

消防訓練

消防訓練

# 創刊400号

昭和58年6月



## 400号 祝辞 おめでとう「四〇〇号」 大阪市長 大島 靖

自らの教養誌として、職員の皆さんが相寄り合って育ててこられた「大阪消防」誌が、時あたかも大阪築城四〇〇年の記念すべき年にいみじくも四〇〇号を発刊されることは誠に意義深く、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

二一世紀に向かって、都市の構造も大きく変貌する中ににおいて、皆さん方には日夜市民の生命・身体・財産を火災その他の災害から守る重要な職務を取り組まれるかたわら、本誌を通じ、常に新しい知識の習得と情操の涵養に努力されまして、誠に心強く存じますとともに皆さん方に対する信頼と期待の念を新たにすることとあります。

自治体消防も発足してちょうど三十五年、その間、職員の皆さんのたゆまぬ御努力と関係各位、並びに市民の皆様の温かい御理解と絶大なる御支援によって、機械・装備等年々その充実強化が図られ、現在では我が国最高レベルの近代消防体制が確立されつつあることは、職員の皆さんのみならず、私の誇りとするところであります。

大阪市制も、市民生活の内容をより豊かにし、暮らしやすい町にするとともに、国際都市、文化都市を目指して努力しているところでありますが、大阪消防の職員の皆さんも、火災現場や救急現場、その他のあらゆる消防行政を通じて、市政発展の一役を担っておられるわけであり、明るい市政の推進はとりもなおさず、職員の皆さんとの不断の努力に負うところが極めて大きいことは言うまでもありません。

ごろから私は、機会あるごとに消防職員に対し、「体力・気力の鍛磨」を強調しているのですが、同時に専門的知識、技術の習得はもとより情操豊かな人間形成と、協同活動の礎となる和の精神の涵養が不可欠であり、それがためにも「大阪消防」誌の役割はまた計り知れないものがあろうと思います。

安全都市の建設を目指し、三、六〇〇余名がプロの消防人として、より研鑽努力され、総力を結集して、市民の負託に応えられますよう期待するとともに本誌がさらにさらに充実発展されるようお祈り申し上げ、お祝いの言葉をいたします。



**21世紀をめざす大阪消防**

大阪消防

大阪消防

大阪消防



## 創刊700号

平成20年6月



### 700号「扉の言葉」

伝えゆくもの 大阪市消防局長 森口 清太郎

自治体消防発足もない昭和二五年三月に産声をあげた「大阪消防」誌が、今月号をもって通巻七〇〇号を数える。新庁舎に設けられた真新しい資料室には創刊からのすべての号が保存されており、この稿を書くにあたって、閲覧のため資料室に入っていると、各号一冊一冊それぞれには、わずか数ミリの厚さでしかないものであるが、六〇年近い時の重みが書棚の一角を占める圧倒的な量として、現実的な大きさに姿を変え網膜に訴えてくる。

そして、時代を追いながら何冊かを拾い読んでみると、同誌は、まさに大阪消防の軌跡を記録した生々しい「魂の記憶」であり、ページを繰る誌面の間から、大小様々幾多の災害による多くの犠牲者の悲しみと、その市民の生命、身体及び財産を守るべく身を賭して奮闘してきた消防職員の熱き決意、息吹、汗、憂いなどが生々しいアーティーをもって迫ってきた。

近年、我が国の消防行政は大きな進展を遂げ、技術、装備とともに世界に誇る実力を持つまでに至り、市民の大きな信頼と期待を背負うまでになったが、この成長も先人たち一人ひとりの「努力」と「献身」により綿々と築き上げられたものであることを、六九九巻の「大阪消防」誌が物語っている。

我々は、今この瞬間ににおいても、一枚一枚ページを書き加えるがごとく消防の歴史を積み重ねつつ歩んでいる道の途中でもある。これまでの六十年の歩みを改めて振り返り、伝え行く「使命」の重みを痛切に感じた。



## 創刊600号

平成12年2月



### 発刊600号によせて

大阪市消防局長 池田 熱

昭和25年3月、「眞に市民の奉仕者たらんとするゴールに向かって駆り続ける消防人の活力素となれ・・・」との創刊のことばでスタートした「大阪消防」誌が、半世紀に及ぶ歳月を経て、ここに記念すべき600号を発刊できますことは、誠に喜びに堪えません。

これもひとえに毎号の表紙絵を立派な作品で飾っていたいた著名画家の先生方や学界、文芸、報道等各界のご協力をはじめ編集に携わった諸先輩そして温かく支えていたいた全職員の皆様方のおかげであり、ここに厚く御礼申し上げます。

また、防火協力会や消防関係者をはじめ、多数の他都市の消防職員の方々が本誌をご愛読いただいていることも私たちにとって、大きな励みとなっております。この機会に平素のご援助に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、大阪市では2008年のオリンピック開催を目指すとともに、人が輝く「生活魅力都市」、町が華やぐ「国際集客都市」をまちづくりの目標として「市民が誇れる大阪」の実現に取り組んでいます。

私ども消防としましては、これらの基盤となります「安全で災害に強い都市」「誰もが安心して暮らし、行動できるまちづくり」に向かって、各種消防施策を展開しているところです。しかしながらなんと申しましても、これら施策を実行するのには職員一人ひとりであり、その成果を上げるためにには、各人の経験や幅広い知識、豊かな感性など総合的な能力が必要とします。

このような意味におきましても本誌の占める役割は大きなものがあり、内容の充実を一層図っていかなければなりません。

今後も関係各界の皆様方のご意見を伺いながら、時代のニーズに沿った興味深い誌面を作りあげるべく務めてまいりますので、皆様方のさらなるお力添えをお願い申しあげご挨拶いたします。

## 大阪消防

OSAKA SHOBO

2002年2月号  
THE MONTHLY MAGAZINE OF THE OSAKA FIRE DEPARTMENT

CONTENTS



### お詫び

## 平成11年度 地震総合訓練（機能型）



### 新消防艇「まいしま」



「大阪消防」誌は下記から購入できます

年間購読料 4,560円 お申し込み 大阪消防編集部 TEL06-4393-6036

◎創刊号からの平成22年まで60年にわたる「大阪消防」誌を収めたDVDもご用意しております。

# 大阪府立消防学校 第100回初任教育

## ～未来の担い手～









# 「大阪消防」誌 800号に寄せて

／各都市・編集部からのメッセージ／

編 集 部

東京消防厅  
機関誌「東京消防」編集室  
**伊藤 智洋**

大阪市消防局機関誌「大阪消防」の記念すべき通巻八〇〇号の発刊にあたり、心からお祝い申し上げます。

昭和二十五年三月の創刊から六十六年の長きにわたる発行の歴史は、歴代編集部員の皆様のたゆまぬご尽力と多くのご苦労の結晶であります。消防機関誌に携わる末輩として深甚なる敬意を表します。

とくに本記念号にメッセージを寄せさせていただくにあたり、その功績をたたえたいのが現編集長の山野高士さんです。山野編集長は昭和五三年、今や昔の感ある活版印刷の頃より現在に至るまで延べ一九年の長きにわたり

「大阪消防」を支えてこられました。「大阪消防」編集部に山野あり」と全国の消防機関誌担当者が仰ぐ山野編集長をはじめ「大阪消防」編集部皆様の誌面作りにこれからも期待しております。

今後も消防機関誌に携わる同志として、大阪市消防局機関誌「大阪消防」のますますのご発展を祈念申し上げます。

千葉市消防局  
「躍進」編集部編集委員長  
**福留 順一**

「大阪消防」誌800号発行を迎えておりましたこと、心よりお祝い申し上げます。

昭和25年3月に創刊されたとおなじみの「大阪消防」誌800号発行をお祝い申し上げます。

昭和25年3月に創刊されたとおなじみの「大阪消防」誌800号発行をお祝い申し上げます。

最後に「大阪消防」誌の伝統がこれからも引き継がれ、ますます発展されることを心よりお祈り申し上げます。

私どもの「ファイアーカワasaki」は「大阪消防」とは比較にな

で、志高く「大阪消防」誌を立ち上げられた編集者の方々、そして時代の変化に対応しながら今までその伝統を繋いでこられた皆様に心から敬意を表します。

「大阪消防」誌は、フルカラー印刷で紙面が明るく、印象に残るタイトルやキヤツチコピーが興味・関心を湧かせてくれます。

視覚から得る情報はとても大きいと言われていますが、紙面を広げた時の印象の大切さを学ばせて頂いております。また、各コーナーの記事もとても読みやすく、かつ、解りやすく表現されており、読者を第一に考えられた紙面に編集者の方々の心遣いを感じます。

川崎市消防局  
「ファイアーカワasaki」編集長  
**藤川 知久**

昭和25年の創刊以来、66年以上の長きに渡り発刊を続けてこられたのも、毎月の発刊を楽しみに待つておられる読者の期待に応え

よう、編集に携わってこられた皆様が向上心を持ち、努力を重ねてきたからであると思います。

「大阪消防」は職員向けの教養、情報交換だけでなく、府下消防本部や地域に根ざした企業の紹介等、まさにオール大阪の誌面となっていることが素晴らしいと感じております。

らない程の小規模な機関誌ではあります、貴誌に少しでも近付けるように精進していきたいと思つております。

これからも記念号を通過点といたしまして、900号、1000号と更に歴史を積み重ねるとともに、益々発展されることを祈念申し上げます。

名古屋市消防局  
「東海望楼」編集部

武井 美奈子

私は、この4月から当局発行の「東海望楼」の編集を担当することとなり、初めての経験で、毎号の誌面づくりに悪戦苦闘の日々の中、貴誌の誌面構成や内容などを参考に勉強させていただいております。

貴誌を見てまず率直に、全ページカラーでとても見やすいと感じました。内容も充実しており、中でも様々な分野での情報を提

供してくれる職務の記事は、大変勉強になるコーナーです。また、トレーニングや健康管理の記事も掲載されており、体が資

本の私たち消防官への配慮も感じます。

これからも貴誌を目標かつ良きライバルとして、共により良い機関誌を目指していきたいと思つています。

最後に「大阪消防」の今後ますますのご発展と、大阪消防関係者の皆さんのご健勝とご活躍を祈念申し上げて、お祝いのメッセージとさせていただきます。

京都市消防局  
機関情報誌「Web京都消防」

林 万規子

「大阪消防」がこのたび800号を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は、この4月から当局発行の「東海望楼」の編集を担当することとなり、初めての経験で、毎号の誌面づくりに悪戦苦闘の日々の中、貴誌の誌面構成や内容などを参考に勉強させていただいております。

貴誌を見てまず率直に、全ページカラーでとても見やすいと感じました。内容も充実しており、中でも様々な分野での情報を提

の機関情報誌「Web京都消防」の作成に携わっております。機関誌の発行を取り巻く環境は年々変わっており、当局は

機関誌の発行を取り巻く環境は年々変わっており、当局は

月1回発行で約66年。その間には発行に関してさまざまな課題もあつたと推察いたします。

毎月「大阪消防」を拝見させていただいていますが、まず表紙の

建物とその背景色の色合いに目を引かれます。全ページがカラーリになり大変見やすいことに加え、

内容もコマンドアイ、環状線、職務記事が盛りだくさんで参考になる記事ばかりです。

特に毎月のインタビュー「いらっしゃい、大阪消防です！」は

これからも互いに連携、協力し、更に刺激し合っていかければうれしく思います。

今後も、「大阪消防」が安心・安全のための情報発信を1000号、2000号…と続けられ、ますます発展されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

「大阪消防」800号の発行を心よりお喜び申し上げます。長年にわたり、大阪市の安心・安

全のため、重要な情報発信を続けてこられた御誌関係

者の方々に、深く敬意を表します。

私は、京都市消防局で電子版

「大阪消防」800号の発行おめでとうございます。

今後とも、さらによい誌面づくりのため、共に取り組んでいきましょう。

神戸市消防局で監修しており、生活あんぜん・あんしん情報誌「雪」も遅ればせながら2018年2月になんとか800号を迎えることになります。

今後とも、さらによい誌面づくりのため、共に取り組んでいきましょう。

神戸市消防局  
生活あんぜん・あんしん情報誌「雪」監修部

谷輪 文彦

「大阪消防」800号の発行おめでとうございます。

プロ野球はまだ存在せず、東京六大学野球が人気の頂点だった時代。なかでも伝統の早慶戦が「プラチナカード」として、もてはやされていた。日本野球史に残る不祥事「リンゴ事件」は、そんな熱狂の中で起きた。当時の慶大野球部主将で、戦後は日本高校野球連盟会長など高校球児の育成に尽力した牧野直隆さん(2006年死去)は、自著「ベースボールの力」(2003年、毎日新聞社刊)で、「リンゴ一個で起こった事件」として詳しく語っている。

# 「昭和」24面相

ジャーナリスト  
信濃文

## —ベースボールの力

### 【第19回】

## リンゴ事件

1933(昭和8)年

牧野さんは明治43年10月6日、鹿児島市で生まれた。慶大卒業後、鐘紡入り。戦後、全鐘紡総監督として都市対抗野球3連覇を含む4回の優勝に導いた。1981年から11期21年半、第4代高野連会長となるなど、アマチュア野球興隆に全力投球した。小柄な紳士。偉業を引き寄せる「努力の人」の著書をべしに、あのリンゴ事件を再現する。

## —契機はささいな出来事

10月22日・神宮、早慶第3戦

リンゴ事件は「ベースボールの力」の37ページにわたり書かれている。引用する。「舞台は昭和8年10月22日、早慶第3戦が行なわれた神宮球場だった。本科3年生の僕や水原(茂)君にとつて、最後の早慶戦だ。この年から(東京)六大学野球は1シードとなつていて、春から数えて両校1勝1敗でこの日を迎えていた。あらゆる意味で大事な試合だつたわけだ」

「8-7と早大1点リードで迎えた九回表、慶大が守備についたところで、それは起きた。三塁側の早大応援スタンンドから水原君へ、リンゴやナシの食いさしやごみくずなどが多い僕だが、またまたまたまこの手投げ込まれたのである。遊撃の

時は二塁を守っていた。水原君は、この回から三塁の守りについていたところだつた。野手から49個にわたり書かれており、引用する。「なぜ、早大応援団は水原君を挑発したのか。伏線は、直前の八回裏にあつた。慶大はこの回の攻撃で1点を返し、1

## —「桃発」の伏線があつた

「最前列の学生の顔に当たつた、けしからん!」

「なれば、この回から三塁の守りについていたところだつた。野手

のひとつをちょうどテニスのバックハンドの要領で投げたのが、早大側スタンンドに入つたとされてしまった」

## ベースボールの力

牧野直隆

ベースボールは  
楽しく、  
かつ偉大だ。  
*by Atsuro Matsuoka*

日本高野連前会長が組む草薙坂、都市対抗野球、高校野球——「ベースボール」80年。

牧野直隆さん著  
「ベースボールの力」

# 警官隊出動、球史に残る不祥事



慶大野球部キヤブテン時代の  
牧野直隆さん＝1932年  
(神宮球場で)

一點差に詰め寄っていた。さらに墨壙ランナーの岡泰三君が二点の壙へ盗壙を試みる。が、壙審の選手たちは一齊に壙審に抗議し、試合が中断した。しかしながら激しく抗議を繰り返しても、激しく抗議を繰り返したのが、水原君だった。それでも、九回表の早大の攻撃は始まつた。早大はランナーを出したが、後続なく無得点。それでも、九回表の早大の攻撃は始まつた。早大はランナーを出したが、後続なく無得点。早大の三壙側応援団のナラストレーションはさらに高まつたようだ

## 慶大サヨナラ逆転勝ち

「その裏、慶大は最後の攻撃で、先頭打者がテキサス安打を放つた。続く水谷則一君が

を陷入する。ピッチに浮き足立つた早大内野陣がタイムをかけたが、選手たちは一齊に壙審に抗議し、試合が中断した。しなかでも激しく抗議を繰り返したのが、水原君だった。このチヤンスに井川喜代一君が左中間に2点適時打を放ち、ヨナラ勝ちを収めた」

慶大は9-8の劇的な逆転サヨナラ勝ちを収めた。早大はと、三壙側へ目をやると、応援団席の中から大風の学生らが、叫びながら羽織られたベンチへ駆けてくるのが見えた。「スタンンドにリンゴを投げた水原謝れ。混乱を恐れながら慶士や

の更た慶大ナインは、ベンチへ駆けてくるのが見えた慶士や。乱闘に巻き込まれた牧野さんは、車で合宿所へ引き揚げた」

## 混乱、球場外に飛び火

慶大側からの記録であるが、メモ魔といわれた牧野さんの面白躍如たるドキュメントである。

この後、袴姿の男らと後に続いた学生たちの矛先は、後に持た贈られた。騒ぎの中で、慶応塾へ長らスに持つた。応援団と騒ぎ棒をもつて、警官隊が出動した。この後、

て、双方を引き離した。だが、一度火がついた対立は、夜の銀座で再び燃え上がった。ビアホールで「若き血」を歌う慶大生。そこへ「都の西北」を歌う早大生がおしゃけて、ござりあい。またも警官隊が動き、双方に検挙者が出、新ダネになつた。

## 39年振り、指揮棒返る

翌々日の24日。慶大野球部合宿所に早大応援団代表の6人がやつてきた。牧野キヤブテンではないが、牧野さんは同書で「早大応援団とのこの交渉をするには僕は思った。ライバルでは僕は思った。ならばこそその信頼が双方の意識の底に脈々と流れていったからだと、思う」と語っている。もうひとつ残つた問題、「塾長の行方」がスーと抜けていつたようだ。どううひとつのことだ。早大が応援席に招いていた。大応援団が持ち帰つて、大応援団ではなかつた。そしてこの指揮棒は早大応援団ではなかつた。月を経て、1972年39月の某の10年の某月の19日、NHKテレビ番組年39月の某月を経て、1972年39月の某の10年の某月の19日、N

# ニュース・力アーバン

◎コラムニスト 藤井 英一

## 運を支配した天才SH

### スコットランド戦に初勝利

「宿澤広朗」という名前を、知っているだろうか。1989年、ラグビー日本代表監督として、初めてスコットランドに勝利したラガーマンであり、有能なバンカーだった。早大や日本代表のSH（スクラムハーフ）として鳴らした。住友銀行に入行し、三井住友銀行役員に。06年6月、登山中に心筋梗塞で急死。55歳だった。昨年9月の英W杯で日本が大活躍し、一躍ラグビーブームに。四半世紀前に伝説をつくった宿澤さんに、知らせたかった。

### 「スポーツ」「金融」2刀流

SHは、FW（ファウルド）とBK（パックス）をつなぎ、かつ試合を組み立てるデリケートなポジション。SHに恵まれたチームは強い。以下は宿澤さんヒストリー。

66年、埼玉県立熊谷高でラグビーを始める△69年、早稲田大第一政経学部入学△72年、日本選手権で早大が三菱自動車を破り2年連続日本一△73年、早大主将となるも大学選手権決勝で明大に敗れる。住友銀へ入行。10月のウエルズ戦で選手として初キャップ△75年、現役引退△85年、住友銀ロンドン支店から帰国し東京本店に△89年5月、日本代表監督、スコットランド戦で金星△91年、ジンバブエを破りW戦初勝利△02年、日本代表強化委員長△06年、三井住友銀東京本店の専務執行役員。

### ラグビーの種まいた

伝説となつたスコットランド戦の前、宿澤監督は「勝つ」と宣言。秩父宮ラグビー場に隣接するビルから、スコットランド非公開練習を偵察。その結論が「守備の弱さを突けば25点は獲れる。20失点に抑えれば勝てる!」。低いタックルでボールを奪取、素早い攻撃が成功、28対4で破つてしまつた。

強化委員長時代には、社会人チームの全国リーグ化（現在のトップリーグ）を唱えた。  
「宿澤広朗 運を支配した男」（加藤仁著、講談社+a文庫）には、疾走した  
「2刀流の天才」が描かれている。



イラスト：山田いつか

# \#7119/ 救急安心センターおおさかだより



今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119番に転送され緊急入院となった事例のうち、高齢者のけがで発生頻度が多い「骨折」についての事例をご紹介します。



## 【事例1】

79歳女性：2日前に自宅内で転倒し、様子を見ていたが痛みが治まらない。⇒右大腿部頸部骨折

## 【事例2】

77歳男性：4時間ほど前、路上で転倒し腰部を負傷したので、帰宅後歩けなくなってしまった。⇒第2腰椎圧迫骨折

これらは昨年11月頃の事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出動し緊急入院となりましたが、病院搬送後の適切な治療により、後日軽快退院となりました。

## ●救急安心センターおおさかからのアドバイス

「高齢者の骨折」の特徴は、若年層と比較して、体に大きな外力が加わらないちょっとした受傷でも発生しやすく、また骨粗しょう症があると尻もちをついただけでも、容易に脊椎圧迫骨折を起こすとともに、骨折以外の合併症についても併発しやすい傾向にあります。

季節別では、これから日に日に寒さが増し厚着となる冬にかけて多く、受傷場所別では、居室内が最も多いことから、衣服を散らかさないなど室内の整理整頓や滑り止めを取り付けるなど転倒しない工夫にも心がけてください。

また、上記事例のように痛みなどの自覚症状を受傷直後から訴えない、あるいは我慢するケースがしばしば見られることから、転倒等により受傷した場合は、歩行等ができなくなるなどの重症化を防ぐため、受傷部位の異変に十分注意し、少しでも異常を感じたら「救急安心センターおおさか」等を活用するなど、早期の対処に心がけてください。



## 大阪市の災害概況

### ◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
9月中合計	0	1	8	28	37	4	0	0	7	48
平成28年9月末累計	17	16	116	304	453	44	0	3	117	617

### ◎救急概況

	救急出場
9月中件数（概数）	17,431
平成28年9月末累計	167,834

### ◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成28年9月末累計	2,359	849	9	921

## 災害に関わる人々の心理



佐伯 大輔

大阪市立大学  
都市防災教育研究センター  
兼任研究員、  
文学研究科准教授

日本では、ここ20数年という比較的短い期間の間に、甚大な被害をもたらすような大災害が何度も起きています。人は経験から学習する能力が高いため、身を守る方法を獲得してきたと考えられます。それはどの程度達成できているのでしょうか。2013年に大阪市立大学都市防災教育研究センターが大阪市民600人を対象に行つた調査によると、「災害に備えている」と答えた人の割合は、全体の35・6%であり、これは、他のどの回答の割合よりも高いものでした（図1）。この備えを示している人には、「備えていない」という問い合わせに対する回答は、全体の6・4%です。

この結果は、南海トラフ地震は30年以内に70%の確率で起こることの情報を見て、「すぐに備えをしなければならない」と考える人はどのくらいいるでしょうか。このリスク情報が備え行動をとらせるのに効果的なといふ結果でした。それは、30年で70%といふうな不確実性に加えて、「30年」という時間の長さに原因があるのではなといふ先のかうかうとも思っています。多くの物事は、遠い未来のリスク情報は、その正確さと感じられます。リスク情報は、それが人々にどのように受け取られるのかを考える必要があります。備え行動の割合が低い他の原因として、自らが大災害を経験していないこと

が、大災害を何度も経験している国にしては、高くなのではないかと思いません。それでは、災害に対して備えている人の割合が低いのはなぜでしょうか。その1つに、大災害が生じるリスク情報の示し方があると思います。例えば、南海トラフ地震は30年以内に70%の確率で起こることの情報を見て、「すぐに備えをしなければならない」と考える人はどのくらいいるでしょうか。このリスク情報が備え行動をとらせるのに効果的でなければなりません。そのためには、他人（昔の人も含めて）が得た災害についての知識を、自らの防災行動に役立てることができるような工夫が必要です。

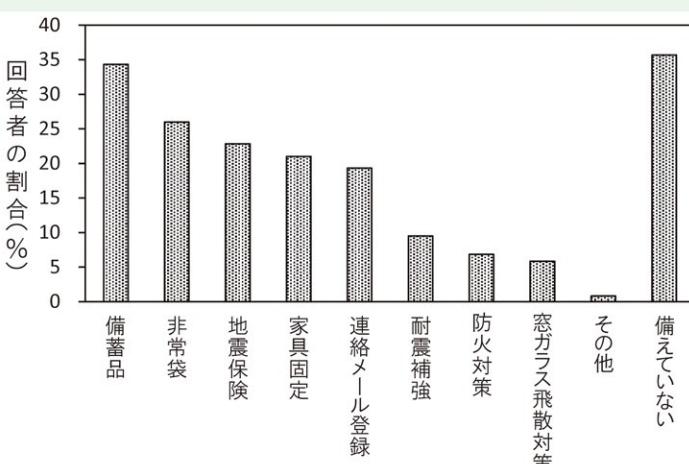


図1. 災害に対して行っている備えは何ですか？

を経験した人はそうでない人に比べて、その後の備え行動の割合が高いことが報告されています。このことは、同じ国で起っている災害であっても、自分が経験していないければ、その知識を活かすことができます。しかし、効果的な防災教育を行なうには、他人（昔の人も含めて）が得た災害についての知識を、自らの防災行動に役立てることができるよう工夫が必要です。

# レスキュー・ナースからの メッセージ

国際災害レスキュー・ナース  
辻 直美

vol.8

あなたは非日常を生かすことができますか？

お休みでどこかに行くということではなくて、例えば停電する、断水する、と言った非日常だ。

一昨年、私はマンションの理事長をしていました。引き継ぎ間近の3月、朝早く淡路島で地震があった際、私の住むマンションも大きく揺れた。

私の住むマンションは14階建て、つまりエレベーターがないと移動ができない。

地震の影響でエレベーターは止まってしまった。その日はなんと資源ゴミの日！

余震が落ち着くと理事長の私の元には、住民からはクレームの電話がジャカジャカ鳴る。

こんな時ほど私は冷静沈着になる。まずは住民の安全の確保。

私は昼間にマンションにいることはほとんどない。地域に密着出来てない。「これはチャンスだ、みなさんの顔をきちんとみて安全確認できるかも」

最上階からローラー作戦で、「大丈夫ですか？」一軒一軒声かけしながら一階まで降りた。体を鍛えることもできて一石二鳥？（笑）

エレベーターホールに立ち、階段で降りてくる住民に笑顔で挨拶をした。気持ちは選挙活動、お一人お一人に「大丈夫？」と声をかけた。

降りてきてイラついていた方も、声かけ一つで笑顔になる。「たまには階段で上がるのもええな」と苦笑いする人、「理事長さん、声聞いて安心したわ、ありがとう」と声をかけてくれる人。普段ではご挨拶もしない方ともたくさん話ができた。

おかげで今では顔見合せたら挨拶をすることができる。

防災で何よりも必要なのは地元のコミュ

ニケーション。

こんな緊急事態も考えようでは、顔を知ってもらうチャンス！

知ってもらえた助かるチャンスはアップする。

【教訓 チャンスがあれば顔を売る→助かるチャンスアップ！】

10.15講談社より発売。『どんなに泣いている子でも、3秒で泣き止み3分で寝るまあるい抱っこ』

こちらにも防災アドバイスを書いています。ぜひ一読ください。

DVD付き  
93分収録

3分で泣き止み

どんないに  
でも泣いている子

まるい抱っこ

辻直美

狩野正嗣 小北千葉 監修

大人気講座、  
待望の書籍化！

ベビーが心地よくて、  
ママもつらくな方法があった！

「抱く」とは手で包む

抱っここの意識がガラッと変わりました。

まるい抱っこで笑顔がいっぱい！

鈴木おさむ・大島美幸

講談社

# コマンドアイ

西方面隊

様々な事案から災害活動を振り返る

大阪消防 24

今回は、大阪市内の警防計画樹立救急病院において、天井側壁25mを焼損した火災を紹介する。

本件火災は手術室・ICU等が存在するフロアで発生し、病院火災における消防隊の活動に一石を投じた事案である。

今回のテーマ

## 敵を知り、己を知れば 百戦危うからず

情報戦を制するものは現場を制す



### 災害概況

●負傷者	29歳女性 右前腕Ⅱ度熱傷(軽傷) 病院関係者
●覚知日時	7月7日 15時52分
●鎮火日時	7月7日 16時12分
●出場次数	7月7日 18時28分
●焼損程度	特別第1出場(警防計画適用) 鉄骨造一部RC造陸屋根13階地下1階建病院 建4031m <sup>2</sup> 、延46528m <sup>2</sup> の内 エリア内の切出室(占有40m <sup>2</sup> ) 天井側壁25m 焼損

COMMAND  
EYE

### 火災指令

本格的な真夏の到来を思わず強い日差しが降り注ぐ中、陽が傾きかけたころに指令は流れました。「火災指令○○管内、警防計画対象物火災・・・××病院出火・・・」名の知れた救急病院が災害点の火災指令、「本当に燃えているのか?でも燃えていたら大変なことになる」そう。思った隊員も少なくないだろう。

▼活動初期～中期

院連絡病院関係者に聞きました。小隊長は隊員に連絡送水管への2階関込病院関係者に聞きました。先着隊到着時煙気は無く、病院内も混乱した様子は見受けられなかった。そこで小隊長は隊員に指示し、連絡送水管への2階関込病院関係者に聞きました。先着隊到着時煙気は無く、病院内も混乱した様子は見受けられなかった。そこで小隊長は隊員に

かかった。5階に到着し、階段室からフロアに入ると、天井付近に白煙が漂つており、5階にいた関係者によつて出火室まで誘導を受ける。「病理」と表示されたドアを開けると黒い煙が、さらに奥の廊下を進むと「切出室」と表示されたドアの隙間から煙が噴出していた。

「5階5m燃焼中」を無線で指揮本部に速報し、付近にあつた補助散水栓を活用して消火活動を試みるも、放水開始直後に別の関係者から危険物情報を入手したため消火器を使用した消防活動に移行した。この結果、火損を出すことなく、後の地域医療へのダメージも軽減することができている。

5階 フロア



一方指揮本部では、「5階5m燃焼中」の無線を受信したため、警防計画適用を判断、指令情報センターに無線で依頼。また病院という対象物の状況から、上階への煙の流入により入院患者へ

▼ 活動後期

火災を鎮圧した5階では、刺激臭と排煙に苦慮していった。実は本事案では危険品及び劇物指定の薬品が燃焼しており、鼻をつく匂いと不快



出火室

CUIには移動不可能状態の患者が1名と最終的な情報を得た。また負傷者情報が入っていたにも関わらず、負傷者の所在を連絡を取ることができなかつた。その上無線の電波状態が悪く、出火室前の隊員とうまく連絡を取ることができなかつた。今まで重なつてしまつた。

（1）燃焼に関する情報

燃焼に関する情報と、人的情報に分けて考えてみる。

### ▼ おわりに

今回の火災では避難騒ぎには「5階が燃焼中」という情報しか入手できなかつた。その後燃焼室には案内されたものの、放水を開始してから

5階の滞在状況については早くから各隊が意識しており、消防隊や救助隊がそれぞれ情報収集をして指揮本部に報告していく。しかしながら各隊が報告する情報に食い違いがあり、最終的には特命を受けた救急隊員と指揮班が、5階フロア担当の看護師から情報収集することで情報が確定した。

の影響が大きくなることは避けたいという考え方から、上階へ消防隊を配置して面確や煙の流入防止の作業に当たらせた。しかし特別第一出場を要請したことで隊の数が増え、活動状況の把握が難しくなり、救助・救急中隊とも連携がとり辛い状況となつてしまつた。

火点5階の人的な状況についても様々な情報が錯綜したためどれが本当の情報か確認するのに時間を要したが、指揮班と患者搬送のために待機していた2隊の救急隊長が的確な情報収集を行い、手術中6名、その内1名は最終的には25pの表面焼損で鎮圧したが、この面焼損で鎮圧しきりで後手に回つてしまつた。この一言に尽きるのではないだろうか。

### ▼ 今回の活動を踏まえて

本事案は最終的には25pの表面焼損で鎮圧しきりで後手に回つてしまつた。この一言に尽きるのではないだろうか。煙が抜けなかつた。手術室やICUゾーンへの煙の侵入を防ぐため、切出室内で送排風機を使用しての排煙も実施した。さらに病院の防災センターに連絡して5階以外の排煙装置の吸気口を閉じることで、5階の排煙効率が向上した。刺激臭については、床にこぼれたいた薬品をふき取ることでおおむね除去することに成功した。

煙が抜けなかつた。手術室やICUゾーンへの煙の侵入を防ぐため、切出室内で送排風機を使用しての排煙も実施した。さらに病院の防災センターに連絡して5階以外の排煙装置の吸気口を閉じることで、5階の排煙効率が向上した。刺

（2）人的情報

当初負傷者1名の情報が入っていたものの、その負傷者の所が一向にわからず、救急中隊がそのままの状況にあたつて、いつでも聞き取りができるよう指揮本部に待機してもらうことや、防災センターに隊員を配置し、総合的な情報収集を行い、非常放送や非常電話を活用して活動中の消防隊に最新の情報を伝達する。こういった作業が必要になつてく

てを受けていた。

5階の滞在状況については早くから各隊が意識しており、消防隊や救助隊がそれぞれ情報収集をして指揮本部に報告していく。しかしながら各隊が報告する情報に食い違いがあり、最終的には特命を受けた救急隊員と指揮班が、5階フロア担当の看護師から情報収集することで情報が確定した。

（文責 岸本）

今回の火災では避難騒ぎには「5階が燃焼中」という情報しか入手できなかつた。その後燃焼室には案内されたものの、放水を開始してから

本事案を参考にあらゆる災害に対する状況予測型訓練を行い、各隊のスキルを高めるため日々研鑽に努めていただきた

い。あなた！これは他人ごとではない。手術をするような病院には、医療用に危険物が置かれている。つまり、あなたの管轄のある病院も、この病院も、ちょっとしたきっかけから火災が発生する危険性をはらんでいるのです。

# 調査鑑識

予防部 防災課

今回のテーマ

## 平成28年度 電気鑑識研修

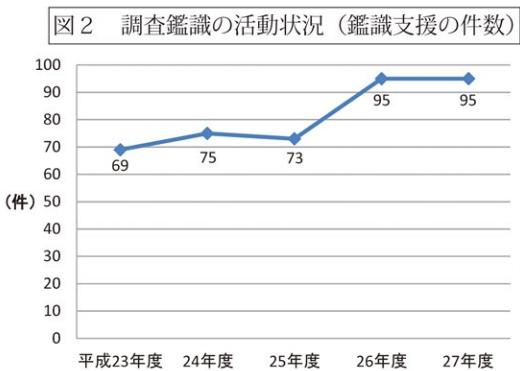
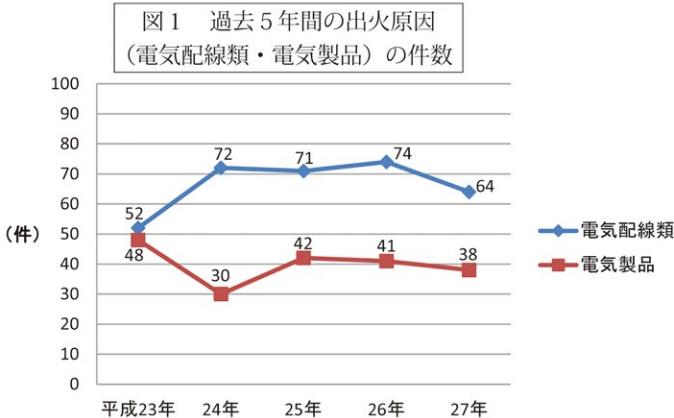
調査業務をリードする立場の各署職員に対して、電気火災及び製品火災における基礎知識の習得並びに初動措置の向上を図ることを目的として行われている電気鑑識研修が、今年度も実施された。

今回はその研修内容を紹介する。



はじめに

近年、大阪市では火災件数は減少しているが、出火原因別では見てみると、電気的要因に起因する火災には減少傾向は見られず、ほぼ一定水準で推移しており(図1)、製品鑑識を行う件数はむしろ年々増加傾向にある(図2)。このことからも、電気製品の火災に対する火災調査業務が担う役割は非常に重要なものとなってきた。



【実施期間】  
平成28年8月29日(月)～9月9日(金)  
(9月1日～4日を除く)

【実施場所】  
○大阪市高度専門教育訓練センター  
防災研究室及び燃焼実験室

足、経験不足から苦手と感じる職員も多い。そのような不足を補い電気火災及び製品鑑識に迅速かつ適切に対応できるよう例年電気鑑識研修が行われており、今年度も実施したのでその内容について紹介する。

概要

- 【研修参加者】  
○大阪市消防局 188名  
(平成28年度火災調査指導者育成研修受講者(以下「育成者」と言う)を含む)  
○大阪府内消防本部 12名

研修内容

研修のうち、前半は座学として電気火災の基礎研修(電気の基礎知識、製品火災への対応、製品鑑識要領)をパワー・ポイントを用いて実施するとともに、X線透視装置及びマイクロスコープについては実際に使用しながら諸言等の説明を行った。後半は、前半の座学で研修した電気火災で見られる現象を実験で再現し、また、電気に特化した模擬実況見分を実施した。その後、今年度の育成者に実況見分の見解を各々発表して頂いた。なお、使用した研修資料は府内ポータル消防局所属サイト(消防職員研修ナビ→01消防職員研修ナビ→エクセルファイル「研修ナビ」[本部研修・センター教育]→調査鑑識研修I(電気製品鑑識))において公開されている。

**電気実験**

電気火災で見られる現象のうち、「短絡」、「過負荷」、「半断線」、「接触不良」、「トラッキング」による電気火花やジューール熱によって出火に至る過程を実験で再現した。

**短絡**

コンセントから伸びた配線の異極間を接触させて短絡を起こした際の短絡火花と短絡時の状況、ブレーカーの作動状況の違いを単線とより線の2種類の配線を用いて比較した。また、短絡火花による可燃物への着火状況と、実際にできた短絡痕を確認した。

**過負荷**

より線の延長コードに3個のドライヤーを繋ぎ、いずれも最大負荷で運転し過負荷状態を再現し、ジューール熱による延長コードの配線の温度上昇を確認した。

**半断線**

過負荷と同様に3個のドライヤーを繋いだより線の延長コードの片側を切断し、素線の一部を接触させ半断線状態を再現し、ドライヤーを最大負荷で使用して、素線が赤熱する状況を確認し付近に配置した可燃物に着火させた。

**接触不良**

コンセントの受け刃を緩んだ状態で差込みプラグを差し込み、接触不良状態を再現し、その際に発生する電気火花の状況を確認した。

**トラッキング**

差込みプラグの異極端子間にベークライト板で作成した炭化導電路を設定し、コンセントに差し込んでトラッキングによる火花を発生させた。また、実際にできた差し刃の溶融痕等も確認した。

**模擬実況見分**

今回は、電気鑑識研修ということで、電気に特化した模擬

実況見分とした。火災現場から焼けた電気配線が発見され、その配線に短絡痕が見分された場合、その短絡痕が一次痕なのか二次痕なのかを判別すること、電気火災を肯定もしくは否定する際に非常に重要なことから、本研修で実施した。

**事前設定**

一般家庭の一室を想定して電気製品及び配線類を配置し、配線には断線箇所や短絡痕を数箇所作っておいた。

**実況見分**

今回の電気鑑識研修は、実況見分の現場で電気に起因した根拠をいかにして見つけるかというところに重点を置いた。配線における短絡痕については実況見分時に見分することが多い、出火原因の判定に大きく関わってくることから、育成者は実況見分時に見分することができるが、電気火災においては短絡痕の判定根拠を考えて頂いた。判定にまで至らなかつた育成者も多かつたが、電気火災において見分すべきポイントが示された。

**おわりに**

電気火災について専門的な知識を必要とする場合もあるため、苦手意識を持つ職員も少なくない中、このような研修を通じて、少しでも多くの職員の電気火災や製品鑑識に対する抵抗を減らせるよう今後とも研修を充実させていきたい。

(文責  
竹田)

今月のテーマ

## 製造所等の「許可の取消し」及び 「使用の停止」について ～昇任試験対策編～

皆さんこんにちは。昇任試験の勉強は、はかどっているでしょうか?前回に引き続き、テーマは危険物です。今回は、製造所等の「許可の取消し」及び「使用の停止」(以下「製造所等の許可の取消し等」という)について、一緒に勉強しましょう!!

製造所等の許可の取消し等については、法第12条の2で規定されています。

製造所等の所有者、管理者又は占有者が一定の消防法令違反を行った場合に、第1項では、市町村長等が当該製造所等の許可を取り消し、又は使用の停止を命ずることができることが、第2項では、市町村長等が期間を定めてその使用の停止を命ずることができるが規定されています。

過去に出題あり!

# キセイカナビ

vol.41

From 予防部規制課



### 許可の取消し、又は使用の停止を命ずることができる場合(法第12条の2第1項)

	条文	解説
①	法第11条第1項後段の規定による許可を受けないで、製造所、貯蔵所又は取扱所の位置、構造又は設備を変更したとき	許可を受けないで、危険物施設の位置、構造及び設備を変更したとき
②	法第11条第5項の規定に違反して、製造所、貯蔵所又は取扱所を使用したとき	完成検査の前に危険物施設を使用したとき
③	法第12条第2項の規定による命令に違反したとき	危険物施設の位置、構造及び設備の基準維持命令に違反したとき
④	法第14条の3第1項又は第2項の規定に違反したとき	保安検査の規定に違反したとき
⑤	法第14条の3の2の規定に違反したとき	定期点検の規定に違反したとき

### 期間を定めてその使用の停止を命ずることができる場合(法第12条の2第2項)

	条文	解説
①	法第11条の5第1項又は第2項の規定による命令に違反したとき	危険物の貯蔵又は取扱いの基準維持命令に違反したとき
②	法第12条の7第1項の規定に違反したとき	危険物保安統括管理者を選任しないとき又は選任しても保安に関する業務を統括管理させないととき
③	法第13条第1項の規定に違反したとき	危険物保安監督者を選任しないとき又は選任しても取扱事業に関して保安の監督をさせないととき
④	法第13条の24第1項の規定による命令に違反したとき	危険物保安統括管理者及び危険物保安監督者に対する解任命令に従わないととき

〈凡例〉法: 消防法

#### ポイント



GOOD!

- ここで「**取消し**」とは、行政行為の成立後に生じた理由により将来にわたってその効力を失わせることを意味します。

許可の取消しにより、当該施設における指定数量以上の危険物の貯蔵又は取扱いはできなくなります。したがって、許可の取消しの理由となる事實を改善し、再度、指定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱おうとする場合には、改めて法第11条第1項の許可を受ける必要があります。

- 「**使用の停止を命ずる**」とは、危険物の貯蔵又は取扱いの用に供することを禁ずる命令を発する意味であって、施設を全面的に閉鎖させるものではありません。よって、使用の停止が命ぜられた製造所等について、危険物の貯蔵又は取扱いに無関係な部分を使用することは差し支えありません。



ご意見・ご質問は予防部規制課まで [pa0032@city.osaka.lg.jp](mailto:pa0032@city.osaka.lg.jp)



# 環状線

LOOP LINE



カラーページとなりレイアウトも大幅に変わりました。コンセプトは、見やすく読みやすくてす。各署のホットニュースをご覧ください。

Pick Up

## 浪速

### 良い土、良い芽、良い浪速

9月21日、消防局において職場活性化推進事例発表会が開催されました。

この日は書類審査を通過した8事例がプレゼンテーションを実施。

当署からも、災害現場での指揮に特化した訓練を実施し、若年層の指揮能力の向上を目指した「指揮能力を高めよう！」と、伝統的な紙芝居に加え、電子紙芝居も併用したことにより、それぞれの良いところを生かした幼児啓発「紙芝居今昔コラボ」の2事例が出席しました。

結果、紙芝居に関する事例が見事最優秀賞を受賞しました。

当署は、平成26年にトイレットペーパーを広報媒体とした防火啓発の取り

組みで、続く平成27年はクイズ形式のリーフレットを活用した予防救急の普及啓発で消防局の代表事例に選出され、ともに市長表彰を受賞しました。

近年の当署の連続受賞は、今回受賞した職員のみならず、普段の業務のどこかに改善の余地はないかと常に考える姿勢が根付いていることや、新しいチャレンジを全力でバックアップする環境が整っていることを実証しているものだと実感しました。

良い土に、次々生まれくる元気なアイデアの芽。

これからも浪速消防署はチャレンジし続けます！（吉原）



## 福島

### 福島自衛消防技術練成会開催

9月14日、新庁舎となった当署において、福島自衛消防技術練成会を開催し、管内の18事業所64名の自衛消防隊が参加された。消火器操法と屋内消火栓操法の2種目で日頃の訓練成果を競って頂き、消火器操法は「大阪ダイハツ販売(男子の部)」と「大阪病院(女子の部)」が、屋内消火栓操法は「関西電力病院」が優勝された。全隊ともに素晴らしい操法を繰り広げられ、防火防災意識をさらに高める練成会となりました。(西本)



## 北

### 救急研修会

9月3日、今年も北区民ホールで地域防災リーダーと女性防火クラブ員の合同救急研修会が開催されました。突然目の前で人が倒れたとき、その場に居合わせた人が何をすべきか?非番にもかかわらず、早く研修指導を引き受けてくれた救急担当司令の熱い指導のもと、100名余りの方々に、AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法を、熱心に、楽しく学んでいただき、最後は大きな拍手で閉会しました。(永田)



## 此花

### 防災フェスタin新大阪郵便局

9月3日、JR桜島線の安治川口駅前にある新大阪郵便局で防災フェスタが実施されました。この防災フェスタは島屋連合振興町会と新大阪郵便局がコラボして行う防災イベントで、防災展には当署から煙体験、水消火器体験、AED体験、子ども防火服を着装しての記念撮影などを行い、区役所が防災関係の展示を実施しました。このイベントが防災のことについて考える一日になったのは間違いないと思います。(安田)



## 都島

### 先生の職場体験

残暑厳しい8月の終わり、管内小学校の先生2名を対象に3日間、「社会体験研修」を実施しました。これは教員研修の一環として民間企業、社会福祉施設等で体験活動をするもので、今回は消防署での実施となりました。可搬式ポンプでの消火訓練、空気呼吸器を着装しての訓練、救命講習、予防査察体験、防災施設見学などを体験しました。この経験を活かし名実共に子どもさんを守れる先生となって頂きたいと思います。(守屋)



## 港

**「いきいき防火のつどい」開催**

9月16日、港区民センターにおいて高齢者防火推進週間に伴う行事として、「いきいき防火のつどい」を開催した。講師に大阪市消費者センター消費生活専門相談員の甲田敏江さんを招いて、「地域で悪質商法から高齢者を守るために」と題して、講演いただいた。

不適切な消火器の訪問販売や防災グッズの無料配布を偽った不審電話も増えてきており、参加された方々は熱心に聞き入っておられた。(平田)



## 大正

**救急車同乗実習**

当署において9月7、8日に管内救急病院との連携を密にするため、看護師による救急車同乗実習が行われた。最初は緊張した面持ちで救急現場に出場していたが、そこはやはり看護師、救急隊員の説明にしっかり耳を傾けすぐに手馴れた様子で活動されていた。



実習を終え「阿吽の呼吸のチームワークに感動しました」と語ってくれました。

今後もこのような機会を大切にし、多くの市民を守っていけるようにしていきたい。

(尾崎)

## 中央

**仲間を信じて**

8月24日、松山市で第45回全国消防救助技術大会が行われ、当署からは引揚救助の3名が出場した。

「私達にとって、全国優勝することが目標でしたが、達成することはできませんでした」しかし、仲間を信じて戦えたこと、互いに切磋琢磨し訓練を行えたことは私達の大きな財産となりました。この経験で得たものを今後の災害現場活動へ活かしていきたいと思います。

(西田)



## 西

**近況報告会**

高齢者防火週間に伴い恒例の町会、関西電力、大阪ガス、当局による合同防火訪問を実施しました。

訪問する各家庭において、町会の方々が「最近お顔を見なかったから心配していました、お元気でした?」などの声かけを皮切りに、各々の持病の話や最近の出来事の話が始まり当初予定していた時間を超えるほどでした。肝心の防火の話も最後にしっかりと付け加えていただきました。(岡井)



## 淀川

### 淀川区民まつり

9月17日に淀川区において区民まつりが開催されました。当署では、セイバーミライと一緒に写真撮影、胸骨圧迫の体験、天ぷら油火災実験、液状化現象実験などを実施し、多くの方々に興味を持って参加、見学していただきました。特に子どもたちは好奇心旺盛で、自らすすんで胸骨圧迫をするなど他の実験コーナーでも真剣に見学してくれました。きっとこの子どもたちが将来、地域の守り手となってくれることでしょう。(中辻)



## 東淀川

### 将来はレスキュー隊?

9月19日、消防署に可愛い姉妹が来訪。昨年の防火図画佳作賞のお姉さんが参加する予定であった区民まつりの防火パレードが、あいにくの天候により中止となつたため、

急きょ妹さんと一緒に救助服を着て記念撮影をしたもの。

興味深く瞳を輝かせて消防車を見学する姿には、将来は消防士を目指すのではと思わせる微笑ましいひと時であった。(中谷)



©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

## 天王寺

### オリジナルうちわ完成!!

9月4日～9月10日「救急医療週間」の一環として、天王寺区医師会と協働で当署オリジナルキャラクター(救太)をプリントしたうちわは、予防救急や救急車の適正利用を呼び掛ける内容となっており、区民祭り等で配布したところ、大人からお子様まで大好評でした。

3年目を迎えた「救太」、区民の皆様にも親しまれてきました。今後、どんな進化を遂げるのか!?乞うご期待☆(鞍谷)



## 西淀川

### 姫里地域防災訓練

9月4日、姫里地域防災訓練が実施され、当日は多くの市民の方が参加されました。

実技訓練では、地域防災リーダーが中心になって可搬式ポンプの操法を中学生に指導。初めて放水訓練を行った子どもたちはその反動力の大きさに驚いていました。また、



小学生の子どもたちには消防器の使い方を指導。近い将来起こると言われている南海トラフ巨大地震に備えて地域一丸となって防災、減災に取り組んだ一日でした。(岡藤)

## 旭

## 区民まつりで震災写真の展示

8月27日に開催された「旭区民まつり」に、当署も参加し、ミニ消防車での記念撮影や、起震車による地震体験、震災写真パネルの展示を行いました。これにより、区民のみなさんは、いつも以上に真剣に大震災について考えていただけたようです。

また、これを機に、震災時の非常持出用袋の中身について「不備」がないか確認し、家族の避難場所も確認していただけた事でしょう。(上田)



## 東成

## 東成区震災訓練

9月4日、当区では9連合町会一斉に震災訓練が行われた。

それぞれの地域において、独自な訓練の取り組みがなされた。その一つの、片江連合町会では、地域住民を中心として、小学生、中学生、先生も参加され、可搬式ポンプによる放水訓練などを行った。

「災害に対する備えは、区民全体で」の思いで、これからも、今年と同様に引き続き震災訓練を行う予定である。(田中)



## 城東

## 城東区民まつり

8月27日、蒲生公園・城東区複合庁舎内において、「城東区民まつり」が開催された。当署からは火災予防啓発ブースとして、住宅用火災警報器の展示、AEDを用いた応急処置体験、水消火器による消火体験等、各ブースに多くの親子連れの列が出来た。中でも、子ども用防火衣を身にまとった子どもたちとミニ消防車の記念撮影は、笑顔溢れるブースとなり、大変賑わいを見せていた。待っているぞ未来の消防士の誕生を…。(権藤)



## 生野

## 市民消防教室

自衛消防協議会の会員の方々(18事業所38名)に市民消防教室を体験して頂いた。様々な体験の中でも、実際にコンロ上で天ぷら油を加熱し発火した後の消火方法を学ぶ天ぷら油燃焼実験や、室内で実際に木材を燃やして発生させた煙の中を低い姿勢で避難する煙中体験・避難訓練は大好評で「こういう機会にしかできない貴重な体験ができる良かった」などの多くの参加者の声をお聞きして、担当者も笑顔になった。(魚岡)



## 住之江

### 地域防災リーダーアドバンストコース

9月11日、南港出張所で南港地区から地域防災リーダー34名の方々が参加し、倒壊家屋からの救出等の救助訓練、可搬式ポンプによる消火訓練を開催したところ、炎天の下にもかかわらず真剣に取り組んでおられた。その中でも、連合町会長が先陣を切って筒先を持たれることには少々びっくりしました。万が一大きな災害が発生した場合には、今回の訓練で習得された知識・技術そして指導力を發揮し、減災に繋げて頂きたい。(麻生)



## 鶴見

### 若い共助力

9月上旬、管内の中学生11名が当署に職場体験に訪れました。全員が消防署を希望しただけあって覇気があり、消火や救助訓練も積極的に取り組んでくれました。可搬式ポンプ操作訓練ではチーム毎にどうしたら早く放水出来るか話し合い、考えて行動するなど地域の青年として、逞しく、頼もしい姿が印象的で、若い共助の力を感じることが出来た2日間でした。(岩川)



## 住吉

### 合同住宅防火訪問

高齢者防火推進週間中の9月16日に女性防火クラブ員、大阪ガス(株)、関西電力(株)の職員及び消防職員が合同で南住吉連合振興町会の高齢者宅を防火訪問した。

女性防火クラブの皆さんには、流石に地域の事情をよく知っておられ、今でも昔ながらの「ご近所さんづきあい」が根付いていることが実感できました。安全で安心できる街づくりのため「向こう三軒両隣」の精神で、見守り活動をがんばっておられた。(広永)



## 阿倍野

### 阿倍野区直近参集者防災研修会を開催

8月31日、「阿倍野区直近参集者防災研修会」が当署で開催された。参加された22名は阿倍野区役所以外の職員で、勤務時間外に大阪市域に震度5強以上の地震が発生した場合には、阿倍野区役所に自動参集する事になっている。大阪市では初の試みとして自動参集職員に対して実施した普通救命講習会であり、大災害時の傷病者に対する応急手当並びに「助ける勇気を学ぶこと」を肝に銘じる良き研修となりました。(松窪)



## 西成

### 社会福祉施設で合同訓練

高齢者防火推進週間に伴い、管内にある社会福祉施設で合同訓練を実施しました。

本訓練は二部構成とし、施設職員に対しての防火・防災講話を受講して頂いたのち実訓練では、入所者参加型による避難訓練や情報提供訓練など実践さながらでした。

また、煙中体験や水消火器による消火訓練と充実した内容に仕上がりました。(秋野)



## 水上

### 子育てサークルで救命講習

9月8日、「救急の日」及び「救急医療週間」に伴い、1～2歳児を連れた子育てサークルのお母さん4人が来署され、AED、胸骨圧迫、人工呼吸の実技に取り組まれた。最中、泣き出す子、走り回る子「ワイワイ・ガヤガヤ」とてもにぎやかで、お母さんはあやしながらの実技に奮闘され、最後に二人一組で胸骨圧迫、AEDを使った救命処置を行われ、「私もこれで救命できそう」と言わされました。(関根)



## 東住吉

### 防災セミナー開催

東住吉区民ホールにおいて、消防署と区役所の共同主催で防災セミナーを開催しました。講師に食文化鑑識・研究家の魚柄仁之助氏をお招きし、「生き延びる為の食術」について講演していただきました。災害発生時の避難生活での「食」に特に注目し、食材保存の知恵などの秘訣や方法についてお話くださいました。備えも重要であるが、知識や知恵を活用し、生き延びねばならないことを教わりました。(岡)



## 平野

### 火災調査を学ぶ

当署では、10年未満の若年層職員に対し火災調査研修を行っている。調査業務補助者を中心とした指導者より課題が送信され、若年層職員は期限までに必ず回答し返信することで、個々の調査能力を高めることを目的として、課題が出される度に自らマニュアルを開き学ぶことで、火災調査の難しさ・奥深さを改めて実感している。今後も継続して行うことで、多くの火災調査のプロフェッショナルが育つ事を願っている。(葛原)





# 大阪の消防 NEWS



## 箕面市消防本部

### 全戸訪問プロジェクト始動！

箕面市消防本部では、以前から市民の皆さんの防火防災に関する安全意識を高め、住宅火災等による死傷者の低減を図るために高齢者世帯（約10,000世帯）の住宅防火訪問を実施してきました。

しかし、住宅火災の発生は、高齢者世帯に限らず、一般世帯にも多く発生していることから今年度から訪問対象を箕面市内すべての世帯（約59,000世帯）に広げて実施しています。

訪問内容は、住宅用火災警報器の設置促進、火災予防啓発や救急安心センターおおさかの周知に加えて、災害時の避難所の確認や自治会への加入促進といった行政情報も積極的に提供しています。

なお、自治会加入の要望等があった場合には、関係部局にその情報を繋ぎ、行政サービスの向上にも努めています。

今後もこの全戸訪問活動をとおして、「安全で安心なまち箕面」を目指していきます。



## 泉州南消防組合泉州南広域消防本部

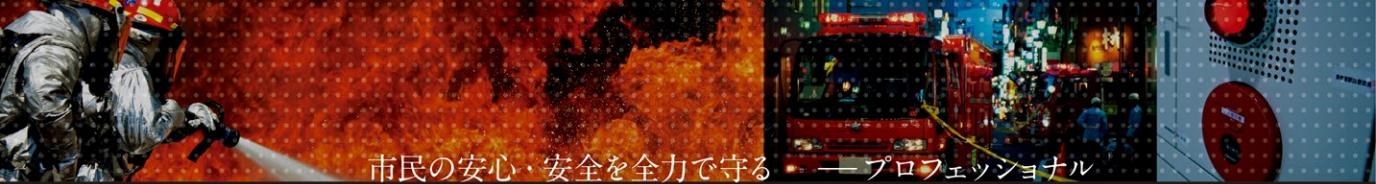
### 救急フェアを開催！

泉州南広域消防本部では、9月3日（土）管内商業施設において救急医療週間に先立ち「救急フェア」を開催しました。

今回の「救急フェア」では、当消防組合を構成する3市3町のマスコットキャラクターを1日救急隊長として招へいし、消防長から1日救急隊長の委嘱状を交付して、子供から大人まで幅広く施設来場者に対して救急業務に対する理解を深めました。

会場では、各マスコットキャラクターとの写真撮影や救急に因んだ○×クイズを実施したほか、心肺蘇生法の実技やAEDの取り扱いを体験して頂く「心肺蘇生法実技体験コーナー」や一般社団法人泉佐野泉南医師会の協力を得て、看護師と救急救命士が医療や救急業務に対する疑問に対応する「救急相談コーナー」を設けました。

今後もこのようなイベント開催を通じて、救急車の適正利用や応急手当の普及啓発に努めていきます。



市民の安心・安全を全力で守る — プロフェッショナル

**豊中市消防局**

**“消防・救急救命基金”  
“守る力”救命力世界一基金** の創設

**守る力”救命力世界一基金**

あなたの寄附が  
誰かの命を助ける

消防・救急救命基金

豊中市を応援する個人の方や団体等からの寄附金を基金に積み立て、消防車両や資機材の整備及び火災予防・救急普及啓発等の事業に活用することにより、消防・救急救命体制の充実強化を図ります。

中市のふるさと納税

この寄附金は、豊中市を応援する個人の方や団体等からの寄附金を基金に積み立て、消防車両や資機材の整備及び火災予防・救急普及啓発等の事業に活用することにより、消防・救急救命体制の充実強化を図ります。

豊中市消防局 消防総務課 〒560-0023 大阪府豊中市岡上町1丁目8番24号

豊中市消防局 消防総務課 〒560-6846-8405

豊中市は、4月1日、ふるさと納税の事業メニューのひとつとして、「消防・救急救命基金」、愛称「“守る力”救命力世界一基金」を創設しました。

本市では、「人と地域を世界と未来につなぐまちづくり」を基本理念に、住んでよかったですと実感できる“とよなか”の創造に取り組んでおり、平成20年12月、「豊中市を応援するための寄附条例」を制定し、以来、寄附を通して本市を応援していただける方を広く募ってきました。

本市のふるさと納税には、消防・救急救命基金を含めて現在11の事業メニューがあり、「消防・救急救命基金」への寄附金は、消防・救急救命体制の充実強化を図るために、今後、消防車両や資機材の整備及び火災予防・救急普及啓発等の事業に活用されます。

詳しくは、豊中市消防局ホームページの消防・救急救命基金「“守る力”救命力世界一基金」をご参照ください。



## 八尾市消防本部

### 八尾市総合防災訓練を実施

八尾市では、9月4日（日）八尾市立南高安中学校において、大規模土砂災害を想定した総合防災訓練を行いました。

この訓練では災害発生時、初動から応急対応までの一連の活動を地域と行政機関が連携して行い、災害時の避難及び情報共有連携等が迅速かつ確実にできることを目的とし、自主防災組織、防災協力事業所、大学生ボランティア（消防支援ボランティア 通称:SAFETY 本年7月に地域防災活動の一翼を担うことを目的に結成）、大阪市消防局航空隊、市立病院、DMAT、陸上自衛隊、消防団、消防署といった多くの機関が参加し、瓦礫除去、救出救護、災害情報伝達、応急救護所設営及び災害負傷者対応訓練等を実施しました。

また、炊き出し訓練や起震車体験のほか、当市消防本部の「防火展コーナー」をはじめ、陸上自衛隊、八尾警察、NTT、関西電力、大阪ガスなどの体験・展示コーナーでは多くの人が参加され防災に対する重要性について理解していただきました。

# 運転適性検査 ～公用車事故ゼロを目指して～

はじめに

交通事故は「車」という道具が引き起こすのではなく、それを動かす「人」が最大の原因であり、大部分の事故は運転者の注意や運転操作のミス等により起こっていると言われています。交通事故を防止するためには、運転に関する知識、技術、経験等が必要であることは言うまでもありませんが、さらに重要なことは運転者の意識、態度、性格といった個人の特性について運転者自身が良く知っておくことが重要です。

大阪市消防局では、機関員が自身の運転特性を把握するため「運転適性検査」を公用車事故防止対策の一環として1985年から実施しており、運転に影響を及ぼしやすい機関員の弱点や癖等を

客観的な傾向として捉え、安全運行意識の向上に繋げています。

## 運転適性検査について

当局が実施している運転適性検査は、機械式検査とペーパー式検査の2種類であり、機械式検査は、3項目をモニター画面に現れる検査要領画面と音声の指示に従って、ボタンやハンドルを操作する方法、ペーパー式検査は、70項目の質問に対し回答する方法により運転者の事故に結びつきやすい性格上の特性等を診断します。

(1) 機械式検査  
速度見越反応検査(検査方法1)  
運転中の適正な速度感覚とあせりの気持ちの度合いを検査

(2) ペーパー式検査  
重複作業反応検査(検査方法2)  
複雑な交通情報や様々な状況変化に対して、常に正しく、すば

やい処置ができるかどうかを検査

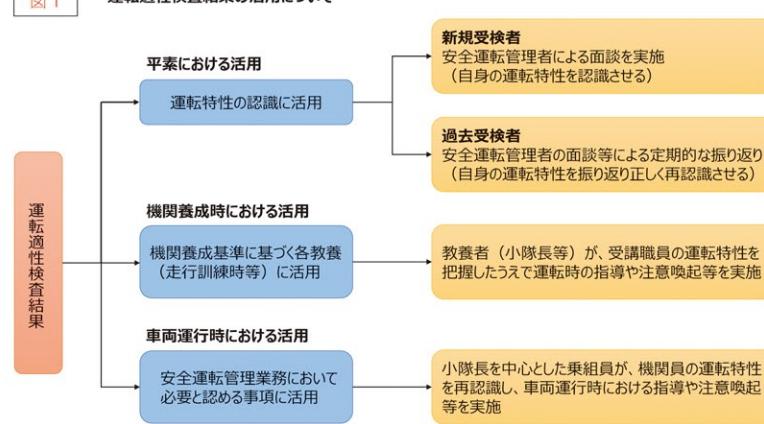
## (検査方法3) 処置判断検査

70項目の質問に対し、あまり深く考えず「そうだ」と思つたら「はい」に、「ちがつ」と思つたら「いいえ」に○印をつけ回答するペーパー検査で、周囲への心構え、心のまだやかさ、慎重さを診断します。

## 運転適性検査結果について

図1

### 運転適性検査結果の活用について



点等が細かく記載されています。例えば、機械式検査の処置判断検査であれば、「注意力が一方に片寄り、他のものを見落としやすい傾向にある」等、注意力が左右どちらかに片寄っているという検査結果が記載されており、普段の運転では気づかない点において自身の

人事課

運転特性を知ることができます。  
当局では、各所属の安全運転管理者や小隊長等により、機関員となる職員に対し運転適性検査結果を踏まえ、自身の運転特性を客観的に認識させ(図1)、安全運行意識の向上を図るとともに各所属の安全運行管理業務の基礎資料とし、公用車事故を未然に防止する目的として活用しています。

我々が運転する消防車等は、普段運転する私用車両と異なり、車両ごとに様々な諸元や性能を有しているため、運転操作が特に困難です。また、災害現場出場の際には、緊急自動車として運行(例..法令の規定により停止しなければならない場合においても停止することを要しない)するため、普段の車両運行よりも他の交通に注意して運行する必要があります。

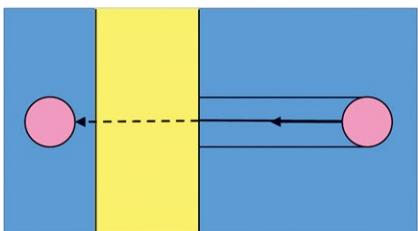
そのような中、交通事故を防止する上で、機関員となる職員の運転に関する技術力はもちろん必要ですが、運転適性検査により自身の意識、態度、性格をしっかりとあります。

おわりに  
運転特性を知ることができます。  
当局では、各所属の安全運転管理者や小隊長等により、機関員となる職員に対し運転適性検査結果を踏まえ、自身の運転特性を客観的に認識させ(図1)、安全運行意識の向上を図るとともに各所属の安全運行管理業務の基礎資料とし、公用車事故を未然に防止する目的として活用しています。

把握することが特に必要です。また、機関員本人だけでなく、周りの乗組員全員が機関員の弱点や癖等の運転特性を把握すること

### 検査方法(1)

ランプが一定のスピードで右から左に進み、途中で黄壁の影に消えます。ランプの移行するスピードを目で追いながら、黄壁の影に隠れたランプが壁を通して終わつたと思われる時間を見計らってボタンを押します。



要因	内 容
①あせりの傾向	スピードの予測があせり気味になっていないか
②速さの見積り	スピードの見積りが正確にできているか
③反応のむら	スピードの予測にむらがないか

### 検査方法(2)

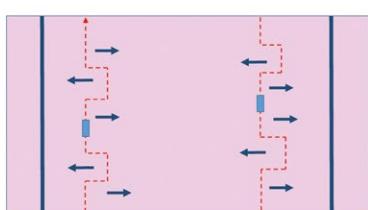
モニター画面に3つのランプの色が点滅すれば、あらかじめ決められている右手(黄色ランプ)・左手(青ランプ)・右足(赤ランプ)をそれぞれ素早く反応させます。



要因	内 容
①反応の正確さ	与えられた条件での動作を正確に行えるか
②反応の速さ	認知-判断-動作のスピード
③反応のむら	反応動作の速さにむらがないか

### 検査方法(3)

モニター画面の両脇で赤い矢印が上下に一定速度で動きます。自動車に見立てたハンドルを操作することにより、両端の赤色の部分や矢印に触れないよう矢印の後方を通過させます。



要因	内 容
①注意力	どれだけ正確に障害物を通過したか
②左右のバランス	注意力が左右のどちらかに片寄っていないか
③場面適応力	変化する環境にどれだけ早く適応できるか

管理者等により、運転適性検査結果を積極的かつ効果的に活用していくべき公用車事故ゼロに繋げたいと思います。(文責 堂本)

# 平成28年度 水難救助技術訓練

## はじめに

大阪市消防局では、水難救助事案に対する実践的な活動能力の向上を図ることを目的とし、災害時における消防隊の連携強化を図り、安全、確実かつ迅速な救助活動の強化に努めている。本年度も大阪市の全救助隊及び消防隊、大阪府下消防本部(局)の職員を受託研修生として水難救助技術訓練(基本訓練・水難救助訓練)を実施した。

**基礎技術訓練の部**  
基礎技術訓練では、昨年度までの内容を大幅に変更し、より実災害に即した訓練を実施した。

## 開催概要

平成28年8月2日(火)から  
8月7日(日)

計6日間

	場所	参加人員	会員
(1) 大阪市 全救助隊	高度専門教育訓練センター プール	224名	56隊
(2) 大阪府下 (大阪府下の隊員は基礎技術訓練のみ参加)	18消防本部(局) 計70名	224名	56隊
総計	518名	448名	448名

訓練内容は「マークーピーの設定要領」、「救命ボートを活用した救出訓練」、「ヒューマンチェーンによる引上訓練」、「一次確保装着要領」を実施した。

**連携救助訓練の部**  
連携救助訓練については、「基本泳力訓練」として所属ごと5名を選出し、50m自由形のリレー及び水難救助事案を想定して「連携水難救助訓練」を実施した。

**連携水難救助訓練想定及び概要**  
連携水難救助訓練は河川等での水難救助事案を想定し、先着消火隊4名と後着救助隊4名が連携し、25m先の要救助者を水難救助操法第3法及びはしごクレーン救助で地上へ救出するま

警防課  
(本部特別高度救助隊)



マークーピーの設定要領

での安全、確実かつ迅速性を評価する。

(所要時間 360秒)

### 連携救助訓練結果

#### ・ 基本泳力訓練

最優秀

1部

都島消防署  
水上消防署

連携水難救助訓練

最優秀

1部

都島特別救助隊  
都島小型タンク小隊

優秀

1部

此花特別救助隊  
桜島化学小隊

浪速救助隊

浪速小型タンク小隊

おわりに

昨年度、大阪市内では120件を超える水難救助事案が発生しており、近年増加傾向にある。また、水難事案も多様化しており、消防隊に求められる知識や技術も高くなっている。水難救助活動では、通常の救

助事案とは異なり、気温、水温、潮流、視界等様々な要因が付加され、極めて困難な活動と言える。

さらに、時間との戦いであるため、先着隊の情報収集、初動活動、また小隊間の連携が不可欠となる。

本訓練では、先着隊としての初動活動や救助隊による早期工



救命ボートを活用した救出訓練



連携水難救助訓練



連携水難救助訓練

ノトリー、また、小隊間の連携強化を図り、要救助者を安全、確実かつ迅速に救出することを主眼に、より一層の救助技術の向上を図るため、実施した。

今回で4回目となる本訓練では、ほぼすべての出場隊が所要時間内(360秒)に要救助者を救出しており、確実に救助技術が向上している。また、訓練

のみならず、水難救助事案においても、日頃の訓練成果が遺憾なく発揮され、要救助者の生存に至っている活動も増えてきている。

今後も継続して、増加傾向にある水難救助事案に対応できる救助技術と小隊間の連携強化に努めていきたいと思っている。

(文責 胡麻)

## 救急医療功労者表彰式典

### はじめに

昭和57年度より「救急の日」及び「救急医療週間」が制定され、救急医療の普及啓発運動が全国的に実施されている。一般社団法人大阪府医師会では、この「救急の日」を記念し、同年より救急医療功労者の表彰式典が行われてきた。

この救急医療功労者表彰は、長年救急業務に従事し、その功績が顕著であると認められる救急隊員に対し、大阪府医師会長より表彰されるもので、大阪府下各ブロックより推薦された5名の隊員が平成28年9月8日、大阪府医師会館において表彰された。

あわせて、日々の救急医療に対し消防機関と連携し、救急業務の推進及び救急隊員の資質向上に大きく貢献した医師に対し、大阪府下消防長会会長より感謝状を贈呈した。

### 大阪府医師会長表彰

大阪市消防局 濱速消防署  
浜速本署救急隊

消防司令 佐藤 和久

佐藤 和久

**第1 警防課救急係**  
消防司令補 中辻 延勝  
中辻 延勝

中辻氏は、25年余りの長きに亘る期間を救急業務に従事し昼夜を問わず

佐藤氏は、日々の救急活動においても適切かつ冷静沈着に活動し、また市民に親切丁寧な対応を行っており、その接遇は救急隊員の模範となるもので

した経験をもとに常日頃から救急隊員の指導にも積極的に取り組んでおり、自ら多くの救急救命士を育て、後輩の人材育成に尽力している。

士として高規格救急車に乗り組み、高

度な傷病者観察・救急救命処置を的確に実施し、救命率の向上に貢献するとともに、他の救急隊員の指導育成に意を注ぎ、市民の安心安全のため、日々職務に精励している。

また今年の4月に発災した熊本地震において、緊急消防援助隊大阪府隊の救急隊の分隊長として派遣され、被災者に寄り添い活動するなど、その功勞は顕著である。

派遣され、大阪市消防局救急部隊を統括的な立場で取りまとめ、現地の災害現場で活躍するなど功績は極めて大きなものである。

救援隊長として救急隊員の指導育成や多岐にわたる調査研究により業務の円滑適正化に貢献するとともに、新たな知識の吸収及び救急医療の動向の

消防司令 八尾市消防本部  
八尾市消防署救急隊  
八尾市消防本部  
北口 直毅

消防司令 佐藤 和久

佐藤氏は、日々の救急活動においても適切かつ冷静沈着に活動し、また市民に親切丁寧な対応を行っており、その接遇は救急隊員の模範となるもので

した経験をもとに常日頃から救急隊員の指導にも積極的に取り組んでおり、自ら多くの救急救命士を育て、後輩の人材育成に尽力している。

士として高規格救急車に乗り組み、高

度な傷病者観察・救急救命処置を的確に実施し、救命率の向上に貢献するとともに、他の救急隊員の指導育成に意を注ぎ、市民の安心安全のため、日々職務に精励している。

また今年の4月に発災した熊本地震において、緊急消防援助隊大阪府隊の救急隊の分隊長として派遣され、被災者に寄り添い活動するなど、その功勞は顕著である。

派遣され、大阪市消防局救急部隊を統括的な立場で取りまとめ、現地の災害現場で活躍するなど功績は極めて大きなものである。

救援隊長として救急隊員の指導育成や多岐にわたる調査研究により業務の円滑適正化に貢献するとともに、新たな知識の吸収及び救急医療の動向の

### 大阪府下消防長会

消防司令補 丹羽 規真  
丹羽氏は現在まで32年の永きにわたり、警防・救急業務に従事し、市民生活の安全・安心に尽力している。救急救命士の資格取得後は、特に救急技術向上に努め、現在は救急隊長として活動し、救急業務の中心的存在となっている。

消防司令補 丹羽 規真  
丹羽氏は現在まで32年の永きにわたり、警防・救急業務に従事し、市民生活の安全・安心に尽力している。救急救命士の資格取得後は、特に救急技術向上に努め、現在は救急隊長として活動し、救急業務の中心的存在となっている。

消防司令 高石消防署  
高石消防署

消防司令 高石消防署

河内長野市消防本部  
警備第1課本署救急隊  
消防司令補  
仲埜 慎志

河内長野市消防署  
河内長野市消防本部  
警備第1課本署救急隊  
消防司令補  
仲埜 慎志

大阪府下消防長会会長感謝状  
地方独立行政法人 大阪市民病院機構  
医療監兼新生児科・小児科部長

従事しており、救急救命士免許を取得後も更なる資質向上に挑戦を続け、厚生労働省から救急救命士の処置拡大が示されると、気管挿管、薬剤投与、ビデオ喉頭鏡、ブドウ糖溶液の投与などの資格を取得、救急隊としての最前线での活動を考え、救命率の向上に寄与している。現在は、八尾市の中心地位に位置する栄町出張所当直責任者兼救急隊長として勤務し、全ての事案に

対し真摯に取り組んでいる姿は、職員はもとより市民からも絶大な信頼を得ている。

また本年4月に発生した熊本地震に際し、八尾市消防本部の救急隊長として、緊急消防援助隊大阪府隊3次隊で熊本県南阿蘇村へ派遣され、迅速、的確な対応により救急活動を実施した。過酷な状況下にも関わらず、傷病者に対する安心感を与える、隊員の健康管理、士気を高めるよう努められたのは、氏が過去に培った様々な経験の賜物である。

これらの功績を反映して、消防長等からの表彰を計14回受賞し、職員として欠かすことのできない存在である。



仲埜氏は、救急隊員としての資格を取得してからも、日夜最新の救急技術を習得するため、各種研修に率先して参加し自己研鑽に励むとともに、応急手当普及啓発活動の一環として、各種イベント等において救急救命講習を行なうとともに、救急車の適正利用に係る広報活動についても率先して取り組み、更なる救命率の向上と救急業務の円滑化に努めている。

また、救急救命士の資格を取得後、高規格救急車の配備に伴い、施設・設備の充実を訴える傍ら、多くの重度傷病者の搬送に従事し、その生命の危機を回避するための救急救命処置に全力を注ぐ一方、救急救護士制度を運用するにあたり、医師会との連携を図りながら、大阪市内ののみならず、大阪府内、近畿全域からも重篤な救急患者を積極的に受け入れ、精力的に救急患者の診療にあたる。

金氏は、小児医療、特に新生児科、周産期母子医療センターの指定を受けている。地域の医療機関をはじめ、関係機関との連携を図りながら、大阪府内のみならず、大阪府内、近畿全域からも重篤な救急患者を積極的に受け入れ、精力的に救急患者の診療にあたる。とともに、周産期の専門医療を行うための後進の指導など、新生児診療相互援助システム(NMCS)での運営管理、機能拡充に積極的に取り組んでいる。

## おわりに

このように、新生児救急医療体制をはじめとする大阪における救急医療体制の整備、充実および救急医療の質の向上に果たした功績は誠に大きいものである。

金太章氏  
金氏は、小児医療、特に新生児科、周産期母子医療センターの指定を受けている。地域の医療機関をはじめ、関係機関との連携を図りながら、大阪府内のみならず、大阪府内、近畿全域からも重篤な救急患者を積極的に受け入れ、精力的に救急患者の診療にあたる。とともに、周産期の専門医療を行うための後進の指導など、新生児診療相互援助システム(NMCS)での運営管理、機能拡充に積極的に取り組んでいる。

救急医療功労者表彰は、長年救急隊員として従事し、多くの命を救った隊員に贈呈されるものである。今回受賞された5名の方々には、今後とも自らもつ救急救命に対する使命を全うし、自身の知識と技術を存分に發揮して職務に邁進し、住民が安心して暮らせるまちを創造していくよう期待する。

# 大阪市防火管理協会からのお知らせ

## (一社)大阪市防火管理協会 販売図書のご案内

### 安全の手引き

IN CASE OF EMERGENCY...  
안전 수칙  
安全手冊  
IN EINEM NOTFALL  
EN CASO DE EMERGENCIA...  
EN CAS D'URGENCE...

この手引きは非常時の説明書です。  
何か緊急時には力を発揮しておきますが念のためご覧ください。よう  
うお願い申します。

This is a guide for safety in case of emergency.  
While we have taken all necessary measures to ensure your safety,  
please read these instructions as an extra precaution.

이 안전 수칙은 비상시에 성능을 발휘합니다.

모든 경우에는 안전한 행동을 그리고 필요하다면 단계를 세우면서 행동하기 바랍니다.

手引きは非常時の説明書です。緊急時に備えて、私たちの安全設備を適切に実行する方法を示すものです。

Das ist eine Sicherheitsanleitung für einen Notfall.

Wir haben alle erforderlichen Maßnahmen zur Sicherheit und Sicherheitssysteme, doch sollten Sie diese Sicherheitsanleitung trotzdem lesen.

Esto es una guía para seguridad en caso de emergencia.

Hemos tomado todas las medidas necesarias sistemas de seguridad, pero, por favor,

lea estas instrucciones para precaución.

Ceci est un guide de sécurité pour les cas d'urgence.

Bien que nous ayons des systèmes de sécurité professionnels, nous vous prions de lire

attentivement ces instructions.

### 【内容】

- ホテル、旅館の宿泊客が、「火災が発生したとき」など緊急時に取る行動を7か国語（日本語、英語、韓国語、中国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語）で解説しています。
- 紙面の両面をPP（ポリプロピレン）加工しているため、光沢があり汚れにくく、客室などに常備できます。
- 宿泊客を火災や地震などから守るための小冊子です。

A4判 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会  
監修／大阪市消防局

### 【お問い合わせ・お申込み先】

#### 安全の手引き

(内容：平成28年4月1日現在)

(一社) 大阪市防火管理協会

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11

TEL : 06-6741-2130 FAX : 06-6712-2130

### 防火・防災管理講習日程表

#### ●甲種防火管理新規講習

〔講習会場：大阪市立阿倍野防災センター  
講習時間：両日とも10:00～16:00〕

回数	開催日
第31回	平成28年12月10日(土)、11日(日)
第32回	平成28年12月14日(水)、15日(木)
第33回	平成28年12月21日(水)、22日(木)

#### ●防災管理新規講習

〔講習会場：大阪市立阿倍野防災センター、大阪市消防局生野分室  
講習時間：10:00～15:30〕

回数	開催日	場所
第14回	平成28年12月4日(日)	大阪市立阿倍野防災センター
第15回	平成28年12月20日(火)	大阪市消防局生野分室

#### ●甲種防火管理再講習

〔講習会場：大阪市消防局生野分室・大阪市立阿倍野防災センター  
講習時間：午前は10:00～12:00 午後は14:00～16:00〕

回数	開催日	場所
第11回	平成28年12月9日(金)午後	大阪市消防局生野分室
第12回	平成28年12月18日(日)午前	大阪市立阿倍野防災センター

#### ●防火・防災管理新規講習

〔講習会場：大阪市立阿倍野防災センター  
講習時間：両日とも10:00～17:00〕

回数	開催日
第22回	平成28年12月5日(月)、6日(火)
第23回	平成28年12月12日(月)、13日(火)
第24回	平成28年12月26日(月)、27日(火)

## 福島区 イオン野田阪神店自衛消防隊

災害に対する「貢献する」、「尊重する」、「支援する」、「震災に対する」として、災害の発生時に貢献する人間を原点に、社会の防災に対する意識を追求し、平成4年創立以来、自衛消防隊として活動を行っています。



史創立して以来、自衛消防隊は、イオン野田阪神店、JR東西線下駄神駅から近くて交通の便な用に日々お客様の基本理念は、イオングループの「永遠」を意味します。おもてなし用語商同様を原点に、社会で、日々の生活に貢献する、地域社会を尊重する、災害に対する意識を追求し、平成24年9月13日創立して以来、自衛消防隊として活動を行っておりまます。

# 自衛消防隊紹介

自衛消防隊長  
寺野 博

イオン野田阪神店では、防災訓練を定期的に実施し、社員の防火・防災意識の高揚に努めています。

大規模災害発生時には、近隣の方のお役に立てるよう、自衛消防隊の体制整備に努めていきます。



れ、おおいに社会貢献されています。また、社内に防災マニュアルを開示し、毎年消防訓練を実施しております。福島自衛消防隊においては、消火栓操作法や屋内消火栓操作法を習得され、日々頑張る訓練の成果を十分發揮されて、消火器操作技術向上にも努めております。

## 女性 防火クラブ だより

浪速区

平成3年の女性防火クラブ結成以来、各クラブ員は家庭防火の担い手として高い意識を持ち、地域の防火・防災推進のためあらゆる機会を捉えて活発に活動されています。連合町会の会館での防災講演や各種講習会等を積極的に開催し、自主防災意識の高揚・知識の習得に努められています。また、毎月実施される夜間の防火・防犯パレードやパトロール、さらには地域一体型防災訓練等への参加により、地域の絆を強め防災技術の向上も図っています。

高齢者防火では、消防署・関西電力・大阪ガスと合同での高齢者宅への防火訪問などに、積極的に参加していただいております。

このように、浪速区女性防火クラブの活動は地域の防火・防災を推進し、安全・安心なまちづくりに大いに貢献されています。

当署としましても、今後より多くの方に女性防火クラブに参加していただきたくため、各種防火・防災講座等を開講して、女性防火クラブが消防の市民協働パートナーとしてより充実するよう努力していきたいと思います。



# 健康ダイアリー

総務部 人事課



## 糖尿病、見逃していませんか？！

### ★11月14日は、世界糖尿病デーです！

全国で糖尿病発症予防と重症化予防に向けた啓発活動が行われます。

糖尿病は、ひとたび発症すると治癒することではなく、放置すると網膜症・腎症・神経障害等の合併症を引き起こし、失明や腎不全(人工透析療法が必要)となります。また、脳卒中・虚血性心疾患の発症、進展のリスクもあります。糖尿病には感染症等で発症する1型と、生活習慣によって発症する2型があり、90%以上は2型と言われています。以下の文中で糖尿病とは、すべて2型糖尿病を指します。

### ★糖尿病予防（自己管理）

#### ☆毎年、健康診断を受けましょう！

自覚症状を感じる前から自分の身体に关心を持ちましょう。

空腹時血糖値100以上、HbA1c6.0%以上は要注意です。

保健指導の案内があれば、ぜひ受けましょう。



#### ☆日頃から、体重計にのる習慣をつけましょう！

糖尿病、高血圧、脂質異常などの生活習慣病のリスクの高い人は、4%の体重減量により健康状態を改善できるとされています。まずは、4%の体重減量にチャレンジ、それから適正体重へつなげましょう。

#### ☆日常をふりかえりましょう！

日々の何気ない習慣が、高血糖をまねくことも・・・

#### ☆有酸素運動で、糖や脂肪を燃焼しましょう！

#### ☆適切なエネルギー量と、栄養バランスの良い食事を！

ゆっくり、よく噛んで、腹8分目！食物繊維が多い野菜、きのこ、

海藻を味方に！

#### ☆十分な睡眠をとりましょう！

目標、1日1万歩!!



### ～糖尿病見逃しチェック～

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 血糖値が高いと言われたことがある | <input type="checkbox"/> 糖尿病の親・兄弟・姉妹がいる |
| <input type="checkbox"/> 肥満気味である          | <input type="checkbox"/> 野菜をあまり食べない     |
| <input type="checkbox"/> 高血圧といわれて薬をのんでいる  | <input type="checkbox"/> 車に乗る機会が多い      |
| <input type="checkbox"/> 40歳以上である         | <input type="checkbox"/> 外食が多い          |
| <input type="checkbox"/> あまり運動をしない        |   |

血糖が高いと言われたことがあります、他の項目があてはまる方は糖尿病を見逃している可能性があります、精密検査を受けましょう！

# 親睦会だより

## 大阪市消防職員親睦会

平成28年度  
親睦会水泳大会

平成28年度の親睦会水泳大会が9月8日(木)「大阪プール」において開催されました。

台風接近に伴つて開催が危ぶまれましたが、当日はさほど影響もなく、無事に大会が開かれました。

結果については表のとおりとなつております。

また、各種目終了後には

恒例の宝探しゲームを行い盛り上がらりました。

### ○ 参加状況

15支部

189名



200mリレー表彰式



宝探しの様子



人と人のハートを大切にするハートフルグループ



## 社会医療法人 協和会 加納総合病院

### 診療時間

月～金曜／9:00～13:00 14:00～17:00  
18:00～20:00

土曜／9:00～13:00(午後休診)

- 急患は時間外でも診療いたします。
- 診療科により一部診療時間が異なります。

**TEL:06-6351-5381(代)**

〒531-0041

大阪市北区天神橋7丁目5番15号



### access

地下鉄6番出口  
天神橋筋六丁目  
アコム  
三井住友BK

北大阪クリニック（人工透析）

**TEL:06-6351-2228(代)**

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目6番21号

北大阪訪問看護ステーション

**TEL 06-6357-7893**

〒531-0063 大阪市北区長柄東3丁目3番10号  
フローラルハイツ協和2階

<http://www.heartfull.or.jp>

ほんとうの「安心」は、ここにあります。



# セコム ホームセキュリティ

-----お問い合わせ先-----

**セコム株式会社 大阪本部**

大阪府大阪市城東区森之宮1-6-111 NLC森の宮ビル

TEL:06-6967-0756

# HANKYU HANSHIN

## BUILDING MANAGEMENT

「安心・安全・快適」、そして「夢・感動」をお届けする

**それが、私たち阪急阪神ビルマネジメントです。**

阪急・阪神 100 年にわたり、培ってきた運営管理ノウハウの結集

阪急阪神ビルマネジメントは、阪急・阪神の開発プロジェクトのサポート業務からビル管理会社としての

P M・B M事業領域を含むした運営管理業務を行っており、各ノウハウを活用・融合することによって、

オーナー様やテナント様双方の目線で考え、建物を利用する全ての方々にご満足いただけるような体制を構築しております。

数多くの開発支援や施設運営実績と阪急阪神東宝グループの多様なネットワークを強みとした、

ビルのグレードやタイプに応じた最適なプロパティマネジメント業務を提供し、

ビルが持つポテンシャルを最大限に引き出すことによって「資産価値」向上を目指してまいります。



阪急阪神ビルマネジメント株式会社  
<http://www.hhbm.hankyu-hanshin.co.jp>

本社 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル13階 TEL. 06-6372-7900 (代表)  
東京 〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目5番4号 ファーサード銀座9階 TEL. 03-5524-7800 (代表)